

令和6年度 向日市水道事業年報



物集女西浄水場

目 次

| | | |
|---|--------------------|-------|
| 1 | 沿革 | |
| | (1) 水道事業のあゆみ | …… 1 |
| | (2) 拡張整備事業 | …… 10 |
| 2 | 施設 | |
| | (1) 浄水場の概要 | …… 11 |
| | (2) 取水井戸の概要 | …… 15 |
| | (3) 給・配水管等の整備状況 | …… 18 |
| 3 | 事業 | |
| | (1) 給水実績の推移 | …… 20 |
| | (2) 水質検査 | …… 22 |
| 4 | 経営 | |
| | (1) 財務の状況 | …… 34 |
| | (2) 水道料金等 | …… 41 |
| 5 | 組織 | |
| | (1) 機構図 | …… 50 |
| | (2) 職員構成 | …… 50 |
| | (3) 事務分担 | …… 52 |
| 6 | 災害 | |
| | 向日市水道災害対策マニュアル(概要) | …… 54 |
| 7 | 京都府営水道の導入 | |
| | 経過、給水形態、協定水量と受水量 | …… 56 |

1 沿革

(1) 水道事業のあゆみ

◆ 創 設

向日市の水道は、京阪神急行電鉄株（現阪急電鉄株）が昭和4年に建設した住宅専用水道を譲り受け、町営水道として昭和26年9月13日に創設し、西向日地域に給水を開始しました。

翌27年1月7日付けで、簡易水道としての認可を受け、京都府下8番目の公営水道として、正式に向日町水道事業が発足しました。

戦後復興のさなかで伝染病も流行していたことから、水道に対する関心が高まり、未給水地域への水道普及の要望が日に日に強まり、将来の発展に不可欠な都市施設として、水道拡張工事を進めました。

◆ 年 表

| 西暦 | 年 月 日 | 水 道 事 業 |
|------|---------------------|---|
| 1951 | 昭和26. 9. 13 | 昭和初期に建設された住宅専用水道を京阪神急行電鉄株（現阪急電鉄株）から無償譲渡を受け西向日地域を給水区域とした町営水道事業が開始される（第1水道） 計画給水人口 3,000人 最大給水量 260m ³ /日 町営水道料金制定 |
| 1952 | 昭和27. 1. 7 | 簡易水道として認可（京都府指令7衛環第16号） 計画給水人口 3,000人 施設能力 450m ³ /日 1人1日最大給水量 150ℓ |
| 1953 | 昭和28. 3. 15 4. 1 | 第1次拡張事業認可（京都府指令7衛環第11552号） 計画給水人口 4,000人 施設能力 600m ³ /日 1人1日最大給水量 150ℓ 水道料金改定（平均30.0%引上げ） |
| 1954 | 昭和29. 3. 27 4. 1 | 第2水道料金制定（給水区域を西向日地域以外に拡大し西向日地域を第1水道、その他を第2水道とした） 第2水道給水開始 機構改革 総務課水道係から事業課水道係へ |

| | | |
|------|-------------------------------------|---|
| 1955 | 昭和30. 1. 1 2. 10 | 京都市より分水を受ける 簡易水道から向日町上水道事業へ 第2次拡張事業認可（京都府指令10衛環第1577号） 計画給水人口 7,000人 施設能力 1,050m ³ /日 1人1日最大給水量 150ℓ |
| 1956 | 昭和31. 9. 15 | 第2次拡張変更事業認可（京都府指令1公第1521号） 給水家屋1,000戸を超える |
| 1958 | 昭和33. 6. 30 10. 7 | 京都市からの分水を停止（京都市側の需要増により水圧が下がり向日町側から京都市側へ逆流する現象などが生じたため） 第3次拡張事業認可（京都府指令3公第1856号） 計画給水人口 12,500人 施設能力 2,125m ³ /日 1人1日最大給水量 170ℓ |
| 1960 | 昭和35. 1. 1 4. 1 5. 20 7. 5 | 京都市との分水契約を解除する 水道料金改定（第2水道の料金を平均5.4%引下げ） 第4次拡張事業認可（京都府指令5公第850号） 西向日浄水場取水井戸（3号）完成 明神山配水池竣工（貯水量600m ³ ）RC造り |
| 1961 | 昭和36. 3. 2 9. 28 12. 18 | 第5次拡張事業認可（京都府指令6公第268号） 計画給水人口 13,500人 施設能力 3,780m ³ /日 1人1日最大給水量 280ℓ 第5次拡張変更事業認可（京都府指令6公第1180号） 第6次拡張事業認可（厚生省京環第137号） （給水人口が20,000人を超えると知事経由の厚生大臣認可となる） 計画給水人口 30,000人 施設能力 9,000m ³ /日 1人1日最大給水量 300ℓ |
| 1962 | 昭和37. 9 10. 1 | 第2浄水場（物集女東）着工 物集女加圧ポンプ場設置 |
| 1964 | 昭和39. 7. 10 10. 1 | 第2浄水場完成（物集女東）一部給水開始 機構改革 水道課設置（旧事業課水道係） |
| 1965 | 昭和40. 3. 30 4. 1 | 事業認可（京都府指令40公第301号）井戸1本追加 第2浄水場（物集女東）配水池竣工（貯水量3,000m ³ ）PC造り 給水施設利用者協力負担金制度実施 |

| | | |
|------|------------------------------|---|
| 1966 | 昭和41. 3. 31 | 第2浄水場（物集女東）竣工 （施設能力 6,000m ³ /日 合計施設能力 9,000m ³ /日） 水道料金調定業務委託（京都電子計算KK） |
| 1968 | 昭和43. 3. 30 4. 1 8. 1 | 第7次拡張事業認可（厚生省京環第327号） 計画給水人口 60,000人 施設能力 30,000m ³ /日 1人1日最大給水量 500ℓ 地方公営企業法の適用を受ける 新規給水加入金条例施行 水道料金口座振替制度実施 検針、集金2か月制実施 水道料金改定（第1水道、第2水道の料金統一 第1水道のみ 57.0%引上げ） |
| 1969 | 昭和44. 1. 23 | 第3浄水場（物集女西）建設着工 |
| 1970 | 昭和45. 2. 10 | 第3浄水場（物集女西）竣工 （施設能力 21,000m ³ /日 合計施設能力 30,000m ³ /日） |
| 1971 | 昭和46. 3. 1 | 第3浄水場（物集女西）配水池竣工（貯水量5,600m ³ ）PC造り |
| 1972 | 昭和47. 4. 1 | 機構改革 水道部を設置1部3課6係 業務課、工務課、浄水課 |
| 1973 | 昭和48. 4. 1 | 第1浄水場（西向日）休止 明神山配水池休止 |
| 1974 | 昭和49. 12. 1 | 水道料金改定（平均62.0%引上げ 用途別を口径別料金に） 量水器使用料廃止 |
| 1976 | 昭和51. 3. 1 4. 1 | 給水工事公認業者制度実施 検針業務委託 |
| 1977 | 昭和52. 4. 1 | 機構改革 監理課設置 工務課を施設課に（1部4課7係） |
| 1978 | 昭和53. 2. 1 5. 21 7. 20 | 第2浄水場（物集女東）改良工事着工（ろ過機改良） 第2浄水場（物集女東）改良工事竣工 （施設能力 9,000m ³ /日 合計施設能力 30,000m ³ /日） 第3浄水場（物集女西）内に排水処理施設着工 （水質汚濁防止法の特定施設に該当のため） |

| | | |
|------|--------------------------------------|--|
| 1979 | 昭和54. 3. 31 11. 1 | 排水処理施設竣工（物集女西浄水場内） 下水道料金徴収委託を受ける |
| 1980 | 昭和55. 4. 1 9. 20 | 水道料金改定（平均75.46%引上げ） 大牧加圧ポンプ場設置 |
| 1981 | 昭和56. 2. 9 4. 1 7. 1 11. 19 | 第8次拡張事業認可（厚生省京環第71号） 計画給水人口 65,000人 施設能力 36,000m ³ /日 1人1日最大給水量 554ℓ _日 西向日浄水場廃止 明神山配水池廃止 浄水場の名称変更（第2、第3浄水場の名称を物集女東、物集女西に変更） 機構改革 専任の水道事業管理者を設置（下水道事業の一部委任） 監理課を業務課監理係へ 上植野浄水場建設着工 |
| 1982 | 昭和57. 4. 1 | 水道料金集金業務委託 |
| 1983 | 昭和58. 4. 1 7. 1 | 京都市と分水協定締結 帳簿様式から伝票様式〔ワンライティング（一度書き）方式〕に切替え 上植野浄水場一部給水開始 （施設能力 6,000m ³ /日のうち、3,000m ³ /日給水） |
| 1984 | 昭和59. 4. 1 12. 25 | 水道料金改定（口径別基本料金制 4. 1より51.2%、60. 4. 1より8.7%引上げ） 京都市との分水協定による接続工事1か所竣工 |
| 1985 | 昭和60. 3. 31 | 上植野浄水場竣工 （施設能力 6,000m ³ /日 合計施設能力 36,000m ³ /日） |
| 1987 | 昭和62. 4. 1 | 事務処理のOA化 水道料金事務オフィスコンピューター導入 ポータブルターミナル導入（検針事務） ファックス、ワープロ導入 |
| 1990 | 平成 2. 4. 1 | 機構改革 3係増加 1部3課9係 |
| 1992 | 平成 4. 4. 1 | 機構改革 水資源対策課設置 1部4課11係 |

| | | |
|------|---------------------------------------|---|
| 1993 | 平成 5. 6. 1 | 「向日市水道メンテナンス株式会社」設立 |
| 1994 | 平成 6. 4. 1 | OA機器更新 水道企業会計システムコンピューター導入 |
| 1995 | 平成 7. 2. 28 | 物集女西浄水場 排水処理施設改良（加圧脱水機） |
| 1996 | 平成 8. 3. 29 4. 1 10. 1 | 第8次拡張事業計画変更認可（厚生省生衛第358号） 計画給水人口 60,000人 施設能力 36,000m ³ /日 1人1日最大給水量 600ℓ 機構改革 1課2係減 1部3課9係 水道料金改定（平均16.8%引上げ） 消費税3%転嫁 |
| 1997 | 平成 9. 1. 10 | 物集女新配水池着工 |
| 1998 | 平成10. 1. 15 3. 14 3. 30 4. 1 | 水道事業ホームページ開設 京都府営水道の水源となる日吉ダム完成 京都府営水道の受水に当たっての配分水量（第1次分）が決定 京都府営水道乙訓浄水場に係る施設整備等に関する協定を締結 1日最大給水量 12,700m ³ 水道料金消費税5%転嫁 水道法一部改正に伴い指定給水装置工事事業者制度実施 （旧公認業者制度廃止） |
| 1999 | 平成11. 3. 20 6. 30 7. 1 | 物集女新配水池竣工（配水池容量10,000m ³ ） 緊急時応急給水施設整備 物集女西浄水場集中監視制御設備更新竣工 京都府営水道の受水に当たっての給水量が決定 京都府営水道乙訓浄水場に係る給水に関する協定を締結 京都府営水道乙訓浄水場に係る受水に関する協定を締結 平成12年度～14年度 6,350m ³ /日 平成15年度～17年度 11,000m ³ /日 平成18年度 12,700m ³ /日 機構改革 上下水道部（水道部・下水道部を統合） 2部5課14係を1部4課13係 |
| 2000 | 平成12. 10. 1 | 京都府営水道受水 6,350m ³ /日 |

| | | |
|------|---|---|
| 2001 | 平成13. 2. 1 3. 31 7. 1 11. 16 | 上植野浄水場受水池兼浄水池着工 物集女東浄水場廃止 機構改革 1部4課13係を1部4課12係 浄水場部門 I S O14001認証取得 |
| 2002 | 平成14. 3. 12 3. 20 3. 26 4. 1 5. 16 6. 1 6. 1 6. 18 | 水道事業経営改善計画策定 上植野浄水場受水池兼浄水池竣工（容量600m ³ ） 緊急時応急給水施設整備 上植野浄水場制御設備更新竣工 災害時等における京都市との分水協定書を変更 従来の上植野給水区域4か所に加え物集女給水区域2か所を追加 使用料予納金、新規給水加入金改定 明神山配水池跡を公園用地として売却（面積2,783.42m ² ） 水道料金改定（平均24.95%引上げ） 旧西向日浄水場跡地を駐車場として附帯事業を開始 I S O14001の規定に基づく緊急事態対応訓練実施 物集女西浄水場にて市民部市民安全課及び京都府乙訓浄水場の職員も参加のうえ実施 |
| 2003 | 平成15. 2. 24 4. 1 9. 6 | 平成15年度京都府営水道受水量の延伸 11,000m ³ /日 → 6,350m ³ /日 コンビニ・郵便局での水道料金振込サービス導入 京都府総合防災訓練 キリン跡地会場・浄水場同時訓練実施 |
| 2004 | 平成16. 2. 26 4. 1 7. 1 11. 16 12. 16 | 平成16年度京都府営水道受水量の延伸 11,000m ³ /日 → 6,350m ³ /日 京都府営水道の料金改定 基本料金1m ³ 当たり89円（暫定）から92円に引上げ 従量料金1m ³ 当たり42円から36円に引下げ 機構改革 1部4課12係を1部3課7係とし 上水道課に属する出先機関として浄水場を置く 浄水場 I S O14001再認証 改訂水道事業経営改善計画策定 |
| 2005 | 平成17. 2. 23 7. 1 | 平成17年度京都府営水道受水量の延伸 11,000m ³ /日 → 6,350m ³ /日 上下水道部長が水道事業管理者職務代理者を兼任する |

| | | |
|------|--|---|
| 2006 | 平成18. 2. 23 10. 1 | 平成18年度京都府営水道受水量の延伸 11,000m ³ /日 → 6,350m ³ /日 「使用水量のお知らせ」に広告掲載を開始 |
| 2007 | 平成19. 3. 31 5. 1 11. 16 | 2つの浄水場（物集女西浄水場・上植野浄水場）を物集女西浄水場に一元化 合計施設能力 33,700m ³ /日 営業課（お客様係除く）、上水道課の事務所を上植野浄水場に移転 浄水場 ISO14001認証による取組みを終了 |
| 2008 | 平成20. 1. 22 4. 1 4. 1 9. 29 | 上下水道事業懇談会設置 専任の水道事業管理者を廃止 京都府営水道の基本料金改定 1m ³ 当たり92円から87円に引下げ 営業課お客様係の事務所を上植野浄水場に移転 |
| 2009 | 平成21. 4. 1 | 専用水道事務が京都府から向日市に権限委譲 |
| 2010 | 平成22. 4. 1 12. 6 | 集金制度廃止 水道事業ホームページを市ホームページに統合 |
| 2011 | 平成23. 4. 1 4. 11 6. 1 10. 1 | 京都府営水道の基本料金改定 1m ³ 当たり87円から77円に引下げ 東日本大震災に伴う給水支援活動 (4. 11~4. 30 岩手県陸前高田市) 水道料金改定（平均3.6%引下げ） 向日市水道ビジョン策定 |
| 2012 | 平成24. 8. 20 10. 15 | 市制施行40周年記念事業日吉ダム見学会 「水道だより」に広告掲載を開始 |
| 2013 | 平成25. 3. 12 6. 26 9. 16 9. 19 | 加圧式給水車を購入 福知山市の漏水事故に伴う給水支援活動 台風18号に伴う給水支援活動（亀岡市） 〃（南山城村） |

| | | |
|------|--------------------------------------|--|
| 2014 | 平成26. 4. 1 4. 28 10. 1 | 消費税 8 %を水道料金に転嫁 上植野浄水場に下水道課が移転 上植野浄水場内に来客用駐車場を整備 |
| 2015 | 平成27. 4. 1 6. 1 10. 30 | 京都府営水道の基本料金と従量料金を建設負担料金と使用料金に 名称変更 建設負担料金と使用料金を改定 建設負担料金 1 m ³ 当たり77円から66円に引下げ 使用料金 1 m ³ 当たり36円から20円に引下げ 水道料金改定 (平均5.7%引下げ) 物集女西浄水場浄水処理棟耐震化 |
| 2016 | 平成28. 3. 25 | 上植野浄水場玄関口をバリアフリー化 |
| 2017 | 平成29. 3. 21 | 物集女第3配水池の耐震化 |
| 2018 | 平成30. 2. 28 3. 30 6. 18 | 物集女西浄水場酸化池及び急速ろ過池の耐震化 向日市水道事業経営戦略策定 大阪府北部地震に伴う給水支援活動 (大山崎町) |
| 2019 | 平成31. 1. 31 令和元. 10. 1 | 物集女西浄水場中央監視制御設備更新 消費税 10 %を水道料金に転嫁 |
| 2020 | 令和 2. 3. 30 6. 1 10. 22 | 物集女西浄水場高架水槽の耐震化 水道料金改定 (平均 6.1%引下げ) 南丹市重油流出事故に伴う給水支援活動 (10. 22 ~10. 23 南丹市日吉町) |
| 2021 | 令和 3. 4. 1 10. 1 10. 5 | 水道料金 (基本料金) 減免 (新型コロナウイルス対策) (4月・5月検針分) スマートフォンアプリ (PayPay、LINE Pay) による水道料金支払い 開始 クレジットカード、ネットバンキングによる水道料金支払い開始 和歌山市水管橋崩落事故に伴う応援活動 (10. 5~10. 11 和歌山県和歌山市) |
| 2022 | 令和 4. 1. 17 | 物集女西浄水場高圧受配電設備更新 |
| 2023 | 令和 5. 1. 1 8. 1 10. 1 | 水道料金 (基本料金) 減免 (新型コロナウイルス対策) (1月・2月検針分) 水道料金 (基本料金) 減免 (新型コロナウイルス対策) (8月・9月検針分) 機構改革 都市整備部 (建設部と上下水道部を統合) |

| | | |
|------|---|---|
| 2024 | 令和 6. 1. 1 2. 10 3. 20 3. 31 4. 1 | 水道料金（基本料金）減免（新型コロナウイルス対策） （1月・2月検針分） 能登半島地震に伴う給水支援活動 （2. 10～2. 15、3. 26～3. 29、3. 29～4. 1 石川県能登町） 上植野浄水場中央監視制御設備更新 向日市上下水道事業経営戦略（向日市水道ビジョン）策定 水道料金（基本料金）減免（物価高騰対応） （4月・5月検針分） |
|------|---|---|

(2) 拡張整備事業

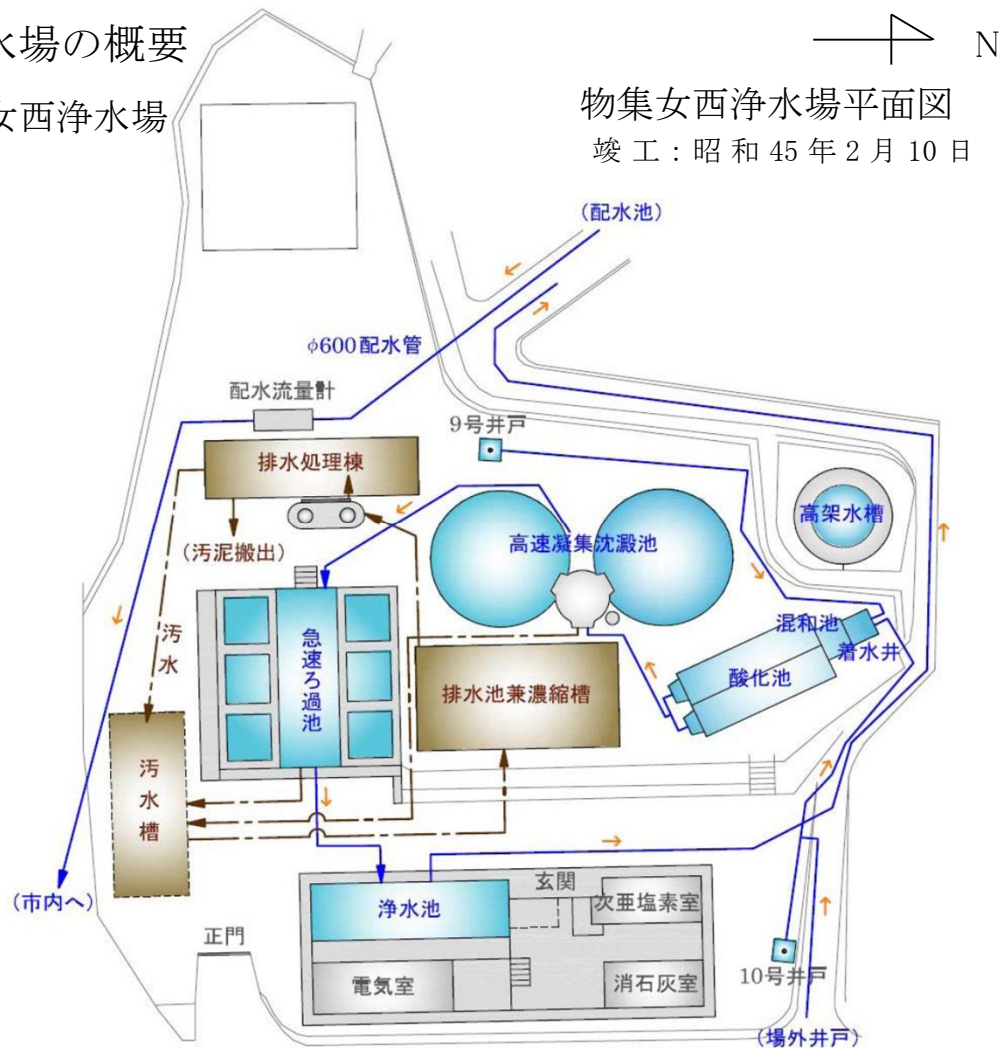
| 項目 | 認可 年月日 | 計画 給水人口 | 計画給水量 | | 目標 年次 | 工期 | 工事費 (うち起債) | 事業内容 |
|---------------------|------------------|------------|----------------------|--------|-----------|-----------------|-------------------------------|--|
| | | | 1日最大 | 1人1日最大 | | | | |
| 第1次 拡張事業 | 昭和 28. 3. 15 | 4,000人 | 600m ³ | 150% | | 昭和28年度 ～30年度 | 2,120万6千円 (1,600万円) | ①西向日浄水場整備：取水井戸1本、気曝ろ過池1池、貯水槽(151m ³)1池、 送水・配水ポンプ1台等 ②配水槽：容量 45m ³ 1池（競輪場内） ③配水管：島坂～向日～野辺坂～JR駅前～上森本(3,400m)・競輪場～府道西京・ 高槻線(2,600m)・森本、上植野、鶏冠井、寺戸地内幹線道路(37,936m) |
| 第2次 拡張事業 | 昭和 30. 2. 10 | 7,000人 | 1,050m ³ | 150% | | 昭和31年度 | 257万1千円 | ①配水管布設：市内全域(1,856m) |
| 第3次 拡張事業 | 昭和 33. 10. 7 | 12,500人 | 2,125m ³ | 170% | | 昭和34年度 | 1,916万1千円 (1,500万円) | ①西向日浄水場整備：気曝ろ過池2池、取水・送水ポンプ1台(能力増) ②配水池：明神山配水池築造(600m ³) ③送水管：浄水場～明神山配水池(890m) ④配水管：配水池～既設配水管(369m) |
| 第4次 拡張事業 | 昭和 35. 5. 20 | 12,500人 | 2,125m ³ | 170% | | 昭和35年度 | 646万3千円 | ①西向日浄水場：取水井戸(3号)1本 |
| 第5次 拡張事業 | 昭和 36. 3. 2 | 13,500人 | 3,780m ³ | 280% | | 昭和36年度 | 522万5千円 | ①西向日浄水場：急速ろ過機2基、送水ポンプ1台 ②配水支管布設：全町(1,500m) |
| 第6次 拡張事業 | 昭和 36. 12. 18 | 30,000人 | 9,000m ³ | 300% | | 昭和37年度 ～40年度 | 1億 4,651万3千円 (1億3千万円) | ①物集女東浄水場設置：処理能力 9,000m ³ /日(急速ろ過池4池・取水井戸4本) ②配水池：PCコンクリート 容量 3,000m ³ |
| 第7次 拡張事業 | 昭和 43. 3. 30 | 60,000人 | 30,000m ³ | 500% | 昭和 55年 | 昭和43年度 ～47年度 | 7億 5,495万8千円 (6億2千万円) | ①物集女西浄水場設置：処理能力 21,000m ³ /日(急速ろ過池6池・取水井戸8本) ②配水池：PCコンクリート 容量 5,600m ³ |
| 第8次 拡張事業 | 昭和 56. 2. 9 | 65,000人 | 36,000m ³ | 554% | 平成 2年 | 昭和56年度 ～59年度 | 24億 9,100万円 (24億6百万円) | ①上植野浄水場設置：処理能力 6,000m ³ /日(急速ろ過機3基・取水井戸4本) ②配水塔：PCコンクリート 容量 350m ³ |
| 第8次 拡張事業 計画変更 | 平成 8. 3. 29 | 60,000人 | 36,000m ³ | 600% | 平成 22年 | 平成8年度 ～13年度 | 25億 1,350万6千円 (20億7千万円) | ①配水池：PCコンクリート 容量 10,000m ³ ②物集女西浄水場集中監視制御設備更新：大型ディスプレイ装置、CRT監視操作装置 ③上植野浄水場受水池兼浄水池：PCコンクリート 容量 600m ³ |

*第2次拡張変更事業（S31.9.15）と第5次拡張変更事業（S36.9.28）については事業内容が軽微なため省略

2 施設

(1) 浄水場の概要

◆ 物集女西浄水場



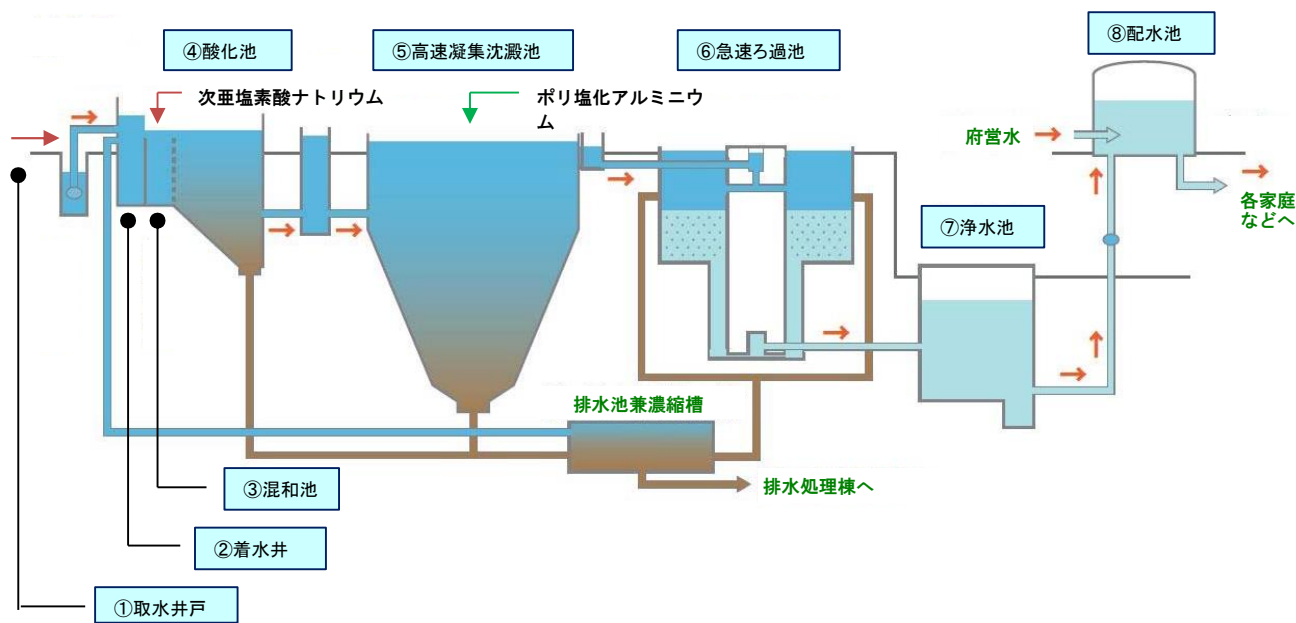
物集女西浄水場平面図

竣工：昭和45年2月10日

| 名称 | 物集女西浄水場 |
|---------|--|
| 所在地 | 京都府向日市物集女町長野1番地 |
| 敷地面積 | 7,327 m ² |
| 能力 | 認可能力 21,000 m ³ /日(施設能力 13,400 m ³ /日) |
| 管理本館 | 鉄筋コンクリート造, 3階建, 延べ1,455 m ² (1階 682 m ² , 2階 482 m ² , 3階 291 m ²) |
| 取水井戸 | 深井戸 14本 深度:145~212 m 口径:Φ250~350 mm |
| 着水井 | 2.4 × 3.0 × 3.6 m 有効容量 25.9 m ³ 1井 |
| 混和池 | 1.4 × 3.0 × 3.6 m 有効容量 15.2 m ³ 1池 |
| 酸化池 | 13.7 × 4.0 × 4.0 m 有効容量 220 m ³ 2池 |
| 高速凝集沈澱池 | Φ15 m × 5.9 m 有効容量 800 m ³ 2池 |
| ろ過設備 | 急速ろ過池 6池 (1池予備) |
| | 6.6 × 5.4 m 有効面積 35.6 m ² 6池 |
| | ろ過速度 129 m/日 処理能力 4,620 m ³ /日 (各池) |
| 浄水池 | 洗浄用高架水槽 Φ11 m × 3 m 有効容量 280 m ³ 1池 |
| 配水池 | 27.5 × 15.5 × 2.5 m 有効容量 1,000 m ³ 1池 |
| 排水処理設備 | ① 10,000 m ³ ② 5,600 m ³ ③ 3,000 m ³ |
| | 加圧脱水機 ろ過面積 92 m ² ろ過容積 112.4 m ³ |

◆ 浄水処理工程フロー図

物集女西浄水場浄水処理工程フロー図



浄水場では、取水井戸から地下水を汲み上げ、原水としています。地下水には、鉄分や砂などが混じっているため、そのままでは飲み水にはなりません。

そのため、原水に次亜塩素酸ナトリウムを入れ、細菌の死滅と前処理を行った後、ポリ塩化アルミニウムを加えて鉄分などの不純物を取り除きます。その後、ろ過を行ってさらに不純物を取り除き、約6時間かけて皆様の飲み水にしています。このようにしてできた飲み水を、配水池や配水塔で府営水と混合して、市民の皆様に配水しています。

◆ 浄水処理工程説明

| | | | | | |
|---|---|---|------|--|--|
| ① |  | <p>取水井戸 深さ145～212 mの井戸から地下水を水中ポンプで汲み上げ、水道水の基となる原水とします。</p> | ⑦ |  | <p>浄水池及び送水ポンプ できあがった浄水を浄水池に貯留した後、送水ポンプで配水池へ送水します。</p> |
| ② |  | <p>着水井 取水井戸から送られてきた原水の流量を計り、処理水量を調整します。</p> | ⑧ |  | <p>配水池 (物集女配水池) 浄水と府営水を混合した水を、ここからの落差を利用して各家庭などへ配水します。</p> |
| ③ |  | <p>混和池 原水に次亜塩素酸ナトリウムを注入します。</p> | ⑨ |  | <p>配水塔 (上植野浄水場) 配水池から送水された水を、ここからの落差を利用して各家庭などへ配水します。</p> |
| ④ |  | <p>酸化池 細菌を死滅させるとともに、濁りなどの不純物を取り除きやすくします。</p> | 付帯設備 |  | <p>応急給水設備 (物集女配水池) 災害時における飲料水確保のため、水道水を供給することができる応急給水栓や給水車用給水栓を配備しています。</p> |
| ⑤ |  | <p>高速凝集沈澱池 ポリ塩化アルミニウムを注入し、濁りなどの不純物を集めて大きくし、取り除きます。</p> | 付帯設備 |  | <p>応急給水設備 (上植野浄水場) 災害時における飲料水確保のため、水道水を供給することができる応急給水栓や給水車用給水栓を配備しています。</p> |
| ⑥ |  | <p>急速ろ過池 砂の層を通して、さらに濁りなどの不純物を取り除き、きれいな水(浄水)にします。</p> | 付帯設備 |  | <p>中央監視室 (物集女西浄水場) 浄水場運転の中心で、水量の調整、機器の操作、その他全般を監視します。</p> |

◆ 施設位置図及び給水区域図



(2) 取水井戸の概要

◆ 取水井戸保守状況

| 系統 | 井戸 | 新設 年月 | 代替 年月 | 二重 年月 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 備考 | | |
|--------|-------|----------|----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----------------------|-------|-------|---------------|
| 物集女西系統 | 5号 | S40.3 | S59.12 | - | 休止 | | | | | | | | | | | | | | 敷地内代替、H14～休止、浚渫H10.7 | | | |
| | 7号 | S40.7 | S63.6 | - | | | | | | | | | | | | 浚渫 | | | | 浚渫 | | |
| | 9号 | S44.6 | S54.9 | H5.7 | 休止 | | | | | | | | | | | | | | H21～休止、浚渫H11.8 | | | |
| | 10号 | S45.3 | S57.8 | - | | | | 浚渫 | | | | | | | | | | | 浚渫 | | 敷地内代替 | |
| | 11号 | S46.5 | S61.3 | - | 浚渫 | | | | | | | | | | | | | 浚渫 | | 敷地内代替 | | |
| | 12号 | S46.8 | S59.8 | H4.7 | | | | | | | | 浚渫 | | | | | | | | 浚渫 | | 敷地内代替 |
| | 14号 | S47.3 | H3.3 | - | | 浚渫 | | | | | | | | | | | | 浚渫 | | 休止 | R5～休止 | |
| | 15号 | S47.8 | H6.4 | - | | | | | 浚渫 | | | | | | | | | | | 浚渫 | | |
| | 16号 | S49.3 | H2.1 | - | | | | | | | | | | | | 浚渫 | | | | | | 敷地内代替 |
| | 17号 | S49.7 | H4.2 | H19.9 | | | | | | | | | | | | | | | | 廃止 | | 洛西口西地区開発により廃止 |
| | 18号 | S50.7 | H5.3 | - | 休止 | | | | | | | | | | | | | | 敷地内代替、H14～休止、浚渫H10.7 | | | |
| | 20号 | S53.7 | H8.4 | - | | | | | | | | | | 浚渫 | | | | | | 浚渫 | | 敷地内代替 |
| | 21号 | S54.3 | - | S60.7 | 休止 | | | | | | | | | | | | | | H14～休止、浚渫H5.7 | | | |
| 22号 | S55.3 | H1.3 | - | | | | 浚渫 | | | | | | | | 浚渫 | | | | | 休止 | R6～休止 | |

◆ 廃止した取水井戸

| 井戸 | 新設 年月 | 代替 年月 | 廃止 年 | 井戸 | 新設 年月 | 代替 年月 | 廃止 年 | 井戸 | 新設 年月 | 代替 年月 | 廃止 年 |
|----|----------|----------|---------|-----|----------|----------|---------|-----|----------|----------|---------|
| 1号 | S2 | - | S36 | 8号 | S43.6 | - | H13 | 24号 | S57.11 | - | H19 |
| 2号 | S30.3 | - | S55 | 13号 | S46.12 | - | H13 | 25号 | S57.12 | - | H19 |
| 3号 | S35.10 | - | S55 | 17号 | S49.7 | H4.2 | R6 | 26号 | S58.3 | - | H19 |
| 4号 | S41.3 | S59.12 | H22 | 19号 | S52.3 | S62.3 | H29 | | | | |
| 6号 | S37.6 | S45.5 | H13 | 23号 | S58.4 | - | H19 | | | | |

表中用語説明

※新設:新たに井戸を鑿井すること。

※代替:既設井戸を破棄し、近辺に代替の井戸を掘ること。

※浚渫:井戸内にたまっている堆積物などを除いて、井戸内部をきれいにする。

※二重:破損した、既存のケーシングパイプ内に口径の小さい新しいケーシングを入れ井戸を再生させること。

※廃止:既設井戸を廃棄すること。

※休止:井戸の揚水効率が悪いなどの理由で、休止している状態のこと。

(2) 取水井戸の概要

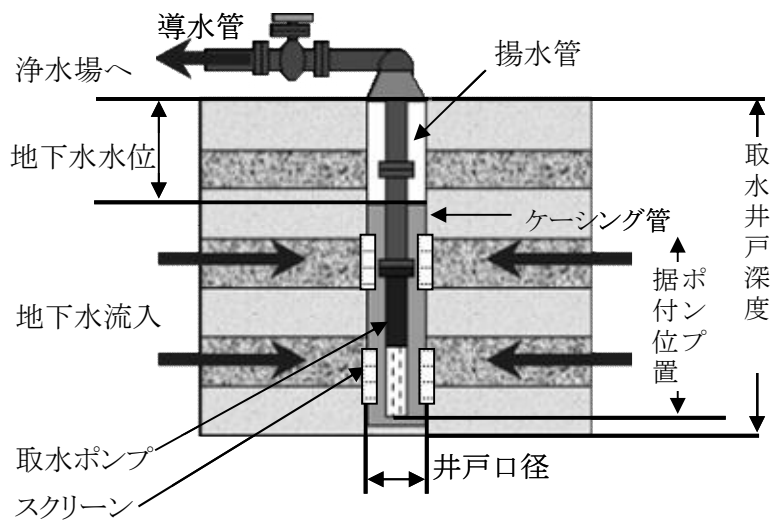
◆ 取水井戸管理状況

| 井戸名 | 取水井戸 | | | | | 取水ポンプ | | | |
|------|--------------|--------|---------|-----------|----------|---------|--------|---------------------------|----------|
| | 場所 | 鑿井年月 | ケーシング材質 | 井戸口径 (mm) | 井戸深度 (m) | 容量 (kw) | 揚程 (m) | 吐出量 (m ³ /min) | 据付位置 (m) |
| 第5号 | 寺戸町三ノ坪25 | S59.12 | FRP | 350 | 190 | 休止中 | | | |
| 第7号 | 物集女町吉田 1 | S63. 6 | FRP | 350 | 200 | 37 | 95 | 1.4 | 52.25 |
| 第9号 | 物集女西浄水場内 | S54. 9 | FRP | 250 | 212 | 休止中 | | | |
| 第10号 | 物集女西浄水場内 | S57. 8 | SUS304 | 350 | 200 | 30 | 100 | 1.1 | 77.00 |
| 第11号 | 寺戸町里垣内30 | S61. 3 | FRP | 350 | 200 | 30 | 100 | 1.1 | 88.00 |
| 第12号 | 物集女町灯籠前2-28 | S59. 8 | FRP | 250 | 184 | 30 | 100 | 1.1 | 88.00 |
| 第14号 | 物集女町立田2-1 | H3. 3 | FRP | 350 | 200 | 休止中 | | | |
| 第15号 | 物集女町吉田17-1 | H6. 4 | FRP | 350 | 200 | 37 | 95 | 1.4 | 63.25 |
| 第16号 | 物集女町五ノ坪18-4 | H2. 1 | FRP | 350 | 145 | 30 | 100 | 1.1 | 72.00 |
| 第17号 | 寺戸町東御泥12-3 | H4. 2 | VP | 250 | 192 | 30 | 100 | 1.1 | 82.50 |
| 第18号 | 物集女町森ノ下24 | H5. 3 | FRP | 350 | 180 | 休止中 | | | |
| 第20号 | 物集女町中海道59-10 | H8. 4 | FRP | 350 | 200 | 30 | 100 | 1.1 | 82.75 |
| 第21号 | 寺戸町東御泥19-2 | S54. 3 | SUS+CIP | 300 | 200 | 休止中 | | | |
| 第22号 | 物集女町吉田 1 | H1. 3 | FRP | 350 | 140 | 30 | 100 | 1.1 | 78.50 |

深井戸は、被圧帯水層から取水する井戸のことで、ケーシング、スクリーン及びケーシング内に吊り下げた揚水管とポンプからなり、狭い用地で比較的多量の水を得ることが可能である。採水層に挿入したスクリーンから直接ポンプで揚水する。

深井戸は、帯水層の立体的な広がり、特に、帯水層の厚さがある程度必要であり、スクリーンの長さもそれに応じて長くなければならない。

本市の取水井戸深度は、145m～212mで、スクリーンの長さは約60mある。



取水井戸の構造図

◆ 取水量・給水量等の状況

ア 取水量

(単位: m³)

| 区 分 | 物集女西浄水場 | 府営水受水量 | 合 計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 令和 2 年度 | 3,451,437 | 2,480,389 | 5,931,826 |
| 令和 3 年度 | 3,184,415 | 2,759,384 | 5,943,799 |
| 令和 4 年度 | 2,948,937 | 2,918,944 | 5,867,881 |
| 令和 5 年度 | 2,575,995 | 3,242,146 | 5,818,141 |
| 令和 6 年度 | 2,342,994 | 3,505,297 | 5,848,291 |

イ 給水量

(単位: m³)

| 区 分 | 物集女系 | 上植野系 | 合 計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 令和 2 年度 | 4,940,452 | 989,289 | 5,929,741 |
| 令和 3 年度 | 4,968,101 | 973,703 | 5,941,804 |
| 令和 4 年度 | 4,927,077 | 938,734 | 5,865,811 |
| 令和 5 年度 | 4,779,893 | 1,036,268 | 5,816,161 |
| 令和 6 年度 | 4,721,872 | 1,124,529 | 5,846,401 |

ウ 薬品使用量

(単位: kg)

| 区 分 | 次亜塩素酸ナトリウム | ポリ塩化アルミニウム |
|---------|------------|------------|
| 令和 2 年度 | 345,973 | 29,933 |
| 令和 3 年度 | 325,246 | 30,169 |
| 令和 4 年度 | 296,830 | 32,904 |
| 令和 5 年度 | 271,044 | 31,584 |
| 令和 6 年度 | 240,258 | 29,948 |

エ 電力使用量

(単位: Kwh)

| 区 分 | 物集女系 | 上植野系 | 合 計 |
|---------|-----------|---------|-----------|
| 令和 2 年度 | 3,545,345 | 152,076 | 3,697,421 |
| 令和 3 年度 | 3,471,019 | 152,830 | 3,623,849 |
| 令和 4 年度 | 3,228,875 | 153,121 | 3,381,996 |
| 令和 5 年度 | 3,198,102 | 141,167 | 3,339,269 |
| 令和 6 年度 | 2,802,090 | 155,820 | 2,957,910 |

※ 物集女系電力使用量には、物集女配水池での電力使用量を含む。

(3) 給・配水管等の整備状況

◆ 導水管・送水管・配水管延長

(単位：m)

| 管路名 口径 | 導水管 | 送水管 | 配水管幹線 | 配水管支線 (補助配水管を含む) | 合計 |
|----------------|-------|-------|---------|---------------------|---------|
| 50mm以下 | | | | 30,576 | 30,576 |
| 75mm | | | | 45,992 | 45,992 |
| 80mm | | | | 62 | 62 |
| 100mm | | | | 43,906 | 43,906 |
| 150mm | 632 | 522 | | 20,896 | 22,050 |
| 200mm | 960 | | | 12,939 | 13,899 |
| 250mm | 577 | | 1,759 | | 2,336 |
| 300mm | 1,401 | | 3,804 | | 5,205 |
| 350mm | | | 2,017 | | 2,017 |
| 400mm | 596 | | 2,807 | | 3,403 |
| 450mm | | 464 | | | 464 |
| 600mm | | 54 | 481 | | 535 |
| 800mm | | | 5 | | 5 |
| 150mm (ドレン) | | 151 | | | 151 |
| 合計 | 4,166 | 1,191 | 10,873 | 154,371 | 170,601 |
| | | | 165,244 | | |

◆ 給水工事

ア 給水装置工事受付件数

(単位：件)

| 区 分 | 新設工事 | 増設工事 | 改造工事 | 口径変更 | 撤去工事 | 外連工事 | 合 計 |
|---------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 令和 2 年度 | 219 | 0 | 64 | 86 | 21 | 148 | 538 |
| 令和 3 年度 | 176 | 0 | 70 | 98 | 45 | 148 | 537 |
| 令和 4 年度 | 136 | 0 | 149 | 65 | 71 | 152 | 573 |
| 令和 5 年度 | 120 | 0 | 97 | 70 | 98 | 125 | 510 |
| 令和 6 年度 | 116 | 0 | 114 | 78 | 54 | 192 | 554 |

イ 配水及び給水施設修理件数

(単位：件)

| 区 分 | 給水器具取替及びパッキン取替 | バルブ及びボックス内漏水 | 公 道 修 理 | | 修 理 合 計 | メーター取替 |
|---------|----------------|--------------|---------|-----|---------|--------|
| | | | 配水管等 | 引込管 | | |
| 令和 2 年度 | 770 | 110 | 6 | 60 | 946 | 2,439 |
| 令和 3 年度 | 621 | 117 | 0 | 69 | 807 | 2,363 |
| 令和 4 年度 | 621 | 116 | 3 | 64 | 804 | 2,216 |
| 令和 5 年度 | 566 | 42 | 11 | 86 | 705 | 2,751 |
| 令和 6 年度 | 482 | 72 | 0 | 66 | 620 | 2,452 |

◆ 漏水調査結果

(単位：件)

| 種 別 | 漏 水 箇 所 | 件 数 |
|--------|---------|-----|
| 配水管関係 | 配水管上 | 0 |
| | バルブ | 0 |
| 給水装置関係 | 給水管上 | 21 |
| | 止水栓 | 3 |
| 合 計 | | 24 |

3 事業

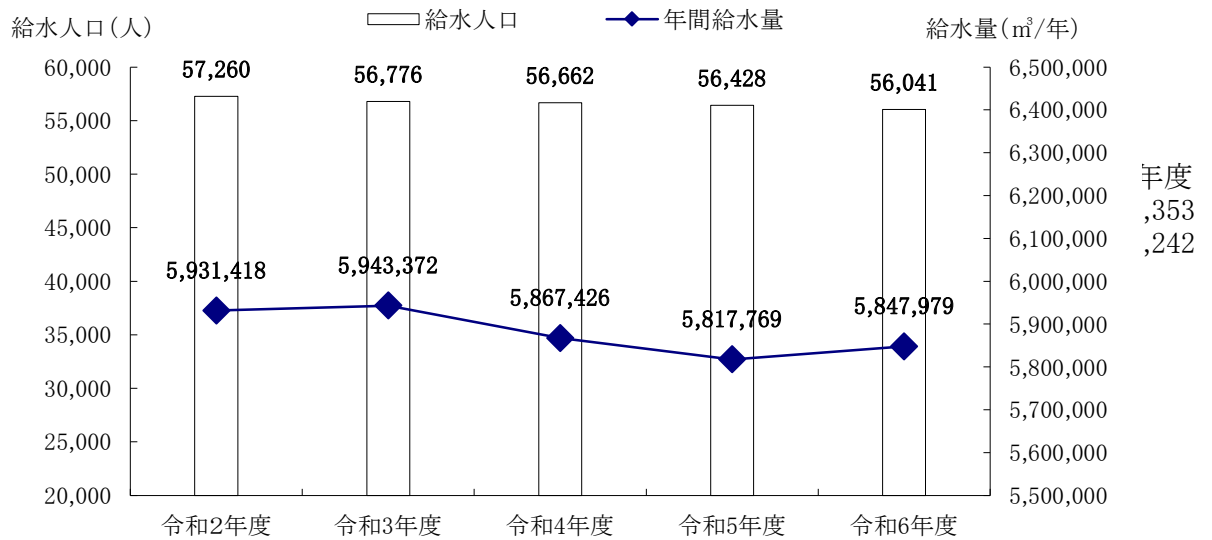
(1) 給水実績の推移

| 項目 \ 年度 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------------------------|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ※行政区域内人口 (人) | | 57,260 | 56,776 | 56,662 | 56,428 | 56,041 |
| ※行政区域内世帯 (世帯) | | 25,512 | 25,443 | 25,620 | 25,798 | 25,811 |
| ※給水人口 (人) | | 57,260 | 56,776 | 56,662 | 56,428 | 56,041 |
| ※給水件数 (件) | | 19,552 | 19,593 | 19,262 | 19,262 | 19,688 |
| 給水戸数 (戸) | | 25,333 | 25,441 | 25,192 | 25,192 | 25,779 |
| 普及率 (%) | | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 年間取水量 (m ³) | | 5,933,503 | 5,945,367 | 5,869,496 | 5,819,749 | 5,849,869 |
| 給水量 | 年間 (m ³) | 5,931,418 | 5,943,372 | 5,867,426 | 5,817,769 | 5,847,979 |
| | 1日最大 (m ³) | 18,257 | 17,642 | 17,961 | 17,382 | 17,484 |
| | 1人1日最大 (ℓ) | 319 | 311 | 317 | 308 | 312 |
| | 1日平均 (m ³) | 16,250 | 16,283 | 16,075 | 15,896 | 16,022 |
| | 1人1日平均 (ℓ) | 284 | 287 | 284 | 282 | 286 |
| 有効水量 | 有収水量 (m ³) | 5,551,406 | 5,532,649 | 5,467,661 | 5,410,738 | 5,377,174 |
| | 無収水量 (m ³) | 283,560 | 319,445 | 324,680 | 319,678 | 376,602 |
| 有効率 (%) | | 98.37 | 98.46 | 98.72 | 98.50 | 98.40 |
| 有収率 (%) | | 93.59 | 93.09 | 93.19 | 93.00 | 91.95 |
| 配水管総延長 (m) | | 163,250 | 164,015 | 164,218 | 165,463 | 165,244 |
| 消火栓数 (基) | | 573 | 576 | 578 | 578 | 579 |

※「人口及び世帯数は水道統計資料による」

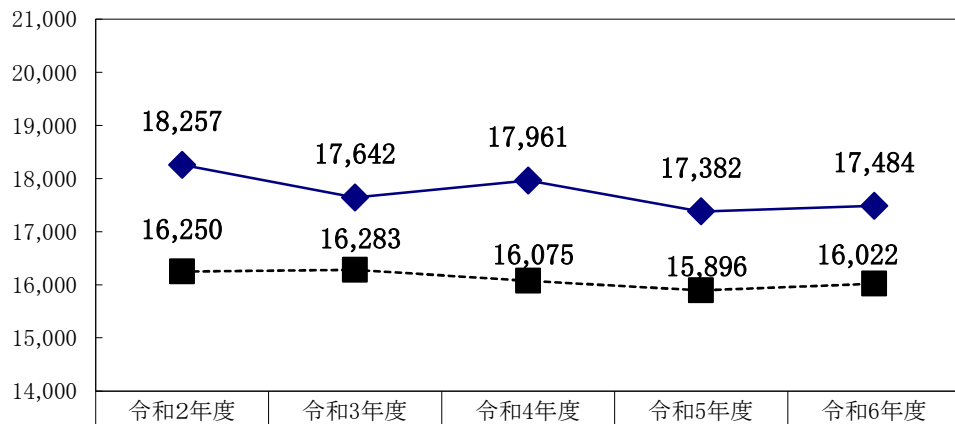
※「給水件数は開栓件数」

◆ 年間給水量と給水人口



◆ 1日平均、1日最大給水量

給水量(m³/日)

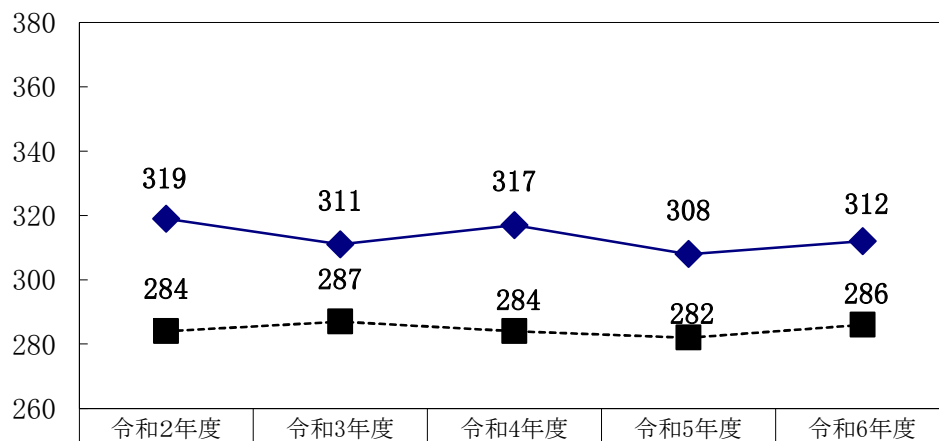


| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ◆ 1日最大給水量 | 18,257 | 17,642 | 17,961 | 17,382 | 17,484 |
| ◆ 1日平均給水量 | 16,250 | 16,283 | 16,075 | 15,896 | 16,022 |

1日平均給 18,034 17,579 17,358 17,478 17,306

◆ 1人1日平均、1人1日最大給水量

給水量(ℓ/日)



| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ◆ 1人1日最大給水量 | 319 | 311 | 317 | 308 | 312 |
| ◆ 1人1日平均給水量 | 284 | 287 | 284 | 282 | 286 |

(2) 水質検査

水質検査は、水道水の安全性を確認するために不可欠であり、水質管理の中核をなしています。本市では、水道法で検査が義務付けられている項目をはじめ、きめ細かい水質検査を実施し、ホームページなどでその結果をお知らせしています。

なお、水質検査は外部委託にて実施しています。委託業者については毎年水道法第20条で定める登録業者の中から入札で選定しています。

◆検査項目と実施状況

- | | |
|--|-------|
| ① 水道法に定める基準項目検査及び自主検査項目（水質基準項目検査） | |
| 採水場所 物集女西浄水場の着水井（48項目） | } 年4回 |
| 物集女西浄水場の浄水池、配水管末給水栓（60項目） | |
| 府営水第1分水点、第2分水点（60項目） | |
| 委託機関 夏原工業(株) | |
| ② 水道法に定める毎月検査とそれ以外の項目（毎月検査） | |
| 採水場所 物集女西浄水場の着水井（24項目） | } 年8回 |
| 物集女西浄水場の浄水池、配水管末給水栓（39項目） | |
| 府営水第1分水点、第2分水点（39項目） | |
| 委託機関 夏原工業(株) | |
| ③ 水道法に定める毎日検査（残留塩素、色、濁り、水温） | 毎日1回 |
| 採水場所 配水管末給水栓 6か所 | |
| 委託機関 (株)クリタス | |
| ④ 浄水処理工程検査（維持管理上必要となる工程検査）（22項目） | 年8回 |
| 採水場所 物集女西浄水場の高速凝集沈澱池、急速ろ過池 | |
| 委託機関 夏原工業(株) | |
| ⑤ 取水井戸の水質検査（34項目） | |
| 採水場所 各取水井戸 8か所（7, 10, 11, 12, 15, 16, 20, 22号） | 年4回 |
| 委託機関 夏原工業(株) | |
| ⑥ 水道法に定める水質管理目標設定項目検査（26項目） | 年1回 |
| 採水場所 物集女西浄水場の着水井及び配水管末給水栓（森本町上町田） | |
| 委託機関 夏原工業(株) | |

※配水管末給水栓の採水場所

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 物集女系給水区域 | 寺戸町八反田(①, ②, ③)、森本町上町田(①, ②, ③) |
| | 寺戸町大牧(②, ③) |
| | 上植野町吉備寺(③) |
| 上植野系給水区域 | 上植野町庄ノ内(①, ②, ③)、森本町春日井(②, ③) |

()内の数字については、上記の水質検査項目に対応

◆水質検査実施項目

| 番号 | 項目名 | 単位 | 毎月検査 | | 水質基準項目検査 | | 浄水処理工程検査 | 取水井戸検査 |
|----|---|---------|------|------|----------|----|----------|--------|
| | | | 原水 | 浄水 | 原水 | 浄水 | | |
| | 水温 | ℃ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1 | 一般細菌 | 個/mL | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 2 | 大腸菌 | — | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | ○ |
| 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 14 | 四塩化炭素 | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 15 | 1,4-ジ ^o クロロベンゼン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 16 | ジ ^o クロロエチレン及びトランス-1,2-ジ ^o クロロエチレン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 17 | ジ ^o クロロメタン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 19 | トリクロロエチレン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 20 | ベンゼン | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 21 | 塩素酸 | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 22 | クロ酢酸 | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 23 | クロホルム | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 24 | ジ ^o クロロ酢酸 | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 25 | ジ ^o プロモクロロメタン | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 26 | 臭素酸 | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 27 | 総トリハロメタン | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 29 | プロモジ ^o クロロメタン | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 30 | プロモホルム | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | | ○ | | ◎ | | |
| 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | | ○ | ○ | ◎ | ○ | |
| 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 38 | 塩化物イオン | mg/L | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 39 | カルシウム、マグネシウム等（硬度） | mg/L | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 40 | 蒸発残留物 | mg/L | | | ○ | ◎ | | ○ |
| 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 42 | ジオキシシン | mg/L | | ○ ※1 | ○ | ◎ | | |
| 43 | 2-メチルイソプロピルアルコール | mg/L | | ○ ※1 | ○ | ◎ | | |
| 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 45 | フェノール類 | mg/L | | | ○ | ◎ | | |
| 46 | 有機物（全有機炭素(TOC)の量） | mg/L | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 47 | pH値 | — | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 48 | 味 | — | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 49 | 臭気 | — | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | ○ |
| 50 | 色度 | 度 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 51 | 濁度 | 度 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 52 | 残留塩素 | mg/L | | ◎ | | ◎ | ○ | |
| 53 | アンモニア態窒素 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 54 | アルカリ度 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 55 | 酸度 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 56 | 遊離炭酸 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 57 | 電気伝導率 | μS/cm | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 59 | リン酸イオン | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 60 | 硫酸イオン | mg/L | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | | | ○ | ○ | | ○ |
| 62 | クリプトスポリジウム及びジアルジア | — | ○ ※2 | | | | | |

◎：水道法で定められた検査項目

○：維持管理上、必要と認める検査項目（一斉分析により結果がでる項目を含む）

No. 1～52：水道法で定められた項目

No. 53～62：維持管理上必要となる自主検査項目

※1：原因となる藻類が発生する期間

※2：3か月に1回

◆水質基準項目の説明

| 項目 | 基準値 | 区分 | 説明 | 主な使われ方 |
|---------------------------------------|--------------|-----------|---|---|
| 1 一般細菌 | 100個/ml以下 | 病原生物の代替指標 | 水の一般的清浄度を示す指標であり、平常時は水道水中には極めて少ないが、これが著しく増加した場合には病原生物に汚染されている疑いがあります。 | |
| 2 大腸菌 | 検出されないこと | | 人や動物の腸管内や土壌に存在しています。水道水中に検出された場合には病原生物に汚染されている疑いがあります。 | |
| 3 カドミウム及びその化合物 | 0.003mg/L以下 | 無機物質・重金属 | 河川水等に検出されることはまれですが、鉱山排水や工場排水などから混入することがあります。イタイタイ病の原因物質として知られています。 | 電池、メッキ、顔料 |
| 4 水銀及びその化合物 | 0.0005mg/L以下 | | 水銀鉱床などの地帯を流れる河川や、工場排水、農業、下水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。有機水銀化合物は水俣病の原因物質として知られています。 | 温度計、歯科材料、蛍光灯 |
| 5 セレン及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | | 鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。 | 半導体材料、顔料、薬剤 |
| 6 鉛及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | | 鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。水道水中には含まれていませんが鉛管を使用している場合検出されることがあります。 | 鉛管、蓄電池、活字ハンダ |
| 7 ヒ素及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | | 地質の影響、鉱泉、鉱山排水、工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。 | 合金、半導体材料 |
| 8 六価クロム化合物 | 0.02mg/L以下 | | 鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。 | メッキ |
| 9 亜硝酸態窒素 | 0.04mg/L以下 | | 窒素肥料、腐敗した動植物、生活排水、下水などの混入によって河川水などで検出されます。 | 無機肥料、火薬発色剤 |
| 10 シアン化物イオン及び塩化シアン | 0.01mg/L以下 | | 鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。 | 害虫駆除剤、メッキ |
| 11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | 10mg/L以下 | | 窒素肥料、腐敗した動植物、生活排水、下水などの混入によって河川水などで検出されます。 | 無機肥料、火薬発色剤 |
| 12 フッ素及びその化合物 | 0.8mg/L以下 | | 主として地質や工場排水などの混入によって河川水などで検出されます。適量摂取は虫歯予防の予防効果があるとされますが、高濃度に含まれますと斑状歯の症状が現れることがあります。 | フロンガス製造、表面処理剤 |
| 13 ホウ素及びその化合物 | 1.0mg/L以下 | | 火山地帯の地下水や温泉、ホウ素を使用している工場からの排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。 | 表面処理剤、ガラスエナメル工業、陶器ホウロウ |
| 14 四塩化炭素 | 0.002mg/L以下 | 一般有機化学物質 | 化学合成材料、溶剤、金属の脱脂剤、塗料、ドライクリーニングなどに使用され、地下水汚染物質として知られています。 | フロンガス原料、ワックス、樹脂原料 |
| 15 1,4-ジオキサン | 0.05mg/L以下 | | | 洗浄剤、合成皮革用溶剤 |
| 16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04mg/L以下 | | | 溶剤、香料、ラッカー |
| 17 ジクロロメタン | 0.02mg/L以下 | | | 殺虫剤、塗料、ニス |
| 18 テトラクロロエチレン | 0.01mg/L以下 | | | ドライクリーニング |
| 19 トリクロロエチレン | 0.01mg/L以下 | | | 溶剤、脱脂剤 |
| 20 ベンゼン | 0.01mg/L以下 | | | 染料、合成ゴム、有機顔料 |
| 21 塩素酸 | 0.6mg/L以下 | 消毒副生成物 | 消毒剤の次亜塩素酸ナトリウム及び二酸化塩素の分解生成物です。 | 試薬 |
| 22 クロロ酢酸 | 0.02mg/L以下 | | 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。 | |
| 23 クロロホルム | 0.06mg/L以下 | | | |
| 24 ジクロロ酢酸 | 0.03mg/L以下 | | | |
| 25 ジブロモクロロメタン | 0.1mg/L以下 | | | |
| 26 臭素酸 | 0.01mg/L以下 | | | 消毒剤の次亜塩素酸ナトリウムの製造時に、不純物として含まれる臭素が酸化されて生成する。 |
| 27 総トリハロメタン | 0.1mg/L以下 | | クロロホルム、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルムの合計を総トリハロメタンとといいます。 | |
| 28 トリクロロ酢酸 | 0.03mg/L以下 | | 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。 | |
| 29 ブロモジクロロメタン | 0.03mg/L以下 | | | |
| 30 ブロモホルム | 0.09mg/L以下 | | | |
| 31 ホルムアルデヒド | 0.08mg/L以下 | | | |

◆水質基準項目の説明

| 項目 | 基準値 | 区分 | 説明 | 主な使われ方 |
|----------------------|-----------------|-------|--|-------------------------------|
| 32 亜鉛及びその化合物 | 1.0mg/L以下 | 色 | 鉱山排水、工場排水などの混入や亜鉛メッキ鋼管からの溶出に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となります。 | トタン板、合金、乾電池 |
| 33 アルミニウム及びその化合物 | 0.2mg/L以下 | | 工場排水などの混入や、水処理に用いられるアルミニウム系凝集剤に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となります。 | アルマイト製品、電線、ダイカスト、印刷インク |
| 34 鉄及びその化合物 | 0.3mg/L以下 | | 鉱山排水、工場排水などの混入や鉄管に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると異臭味や、洗濯物などを着色する原因となります。 | 建築、橋梁、造船 |
| 35 銅及びその化合物 | 1.0mg/L以下 | | 銅山排水、工場排水、農業などの混入や給水装置などに使用される銅管、真鍮器具などからの溶出に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると洗濯物や水道施設を着色する原因となります。 | 電線、電池、メッキ熱交換器 |
| 36 ナトリウム及びその化合物 | 200mg/L以下 | 味 | 工場排水や海水、塩素処理などの水処理に由来し、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となります。 | 苛性ソーダ、石鹼 |
| 37 マンガン及びその化合物 | 0.05mg/L以下 | 色 | 地質からや、鉱山排水、工場排水の混入によって河川水などで検出されることがあり、消毒用の塩素で酸化されると黒色を呈することがあります。 | 合金、乾電池、ガラス |
| 38 塩化物イオン | 200mg/L以下 | 味 | 地質や海水の浸透、家庭排水、工場排水及びし尿などからの混入によって河川水などで検出され、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となります。 | 食塩、塩素ガス |
| 39 カルシウム、マグネシウム等（硬度） | 300mg/L以下 | | 硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量をいい、主として地質によるものです。硬度が低すぎると淡白でこくのない味がし、高すぎるとしつこい味がします。また、硬度が高いと石鹼の泡立ちを悪くします。 | カルシウム：肥料、さらし粉 マグネシウム：合金、電池 |
| 40 蒸発残留物 | 500mg/L以下 | | 水を蒸発させたときに得られる残留物のことで、主な成分はカルシウム、マグネシウム、ケイ酸などの塩類及び有機物です。残留物が多いと苦み、渋みなどをつけ、適度に含まれるとまろやかさを出すとされます。 | |
| 41 陰イオン界面活性剤 | 0.2mg/L以下 | 発泡 | 生活排水や工場排水などの混入に由来し、高濃度に含まれると泡立ちの原因となります。 | 合成洗剤 |
| 42 ジェオスミン | 0.00001mg/L以下 | カビ臭 | 湖沼などで富栄養化現象に伴い発生するアナベナなどの藍藻類によって産出されるカビ臭の原因物質です。 | |
| 43 2-メチルイソボルネオール | 0.00001mg/L以下 | | 湖沼などで富栄養化現象に伴い発生するフォルミジウムやオシロトリアなどの藍藻類によって産出されるカビ臭の原因物質です。 | |
| 44 非イオン界面活性剤 | 0.02mg/L以下 | 発泡 | 生活排水や工場排水などの混入に由来し、高濃度に含まれると泡立ちの原因となります。 | 合成洗剤、シャンプー |
| 45 フェノール類 | 0.005mg/L以下 | 臭気 | 工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあり、微量であっても異臭味の原因となります。 | 合成樹脂、繊維、香料、消毒剤、防腐剤の原料 |
| 46 有機物（全有機炭素（TOC）の量） | 3mg/L以下 | 味 | 有機物などによる汚れの度合を示し、土壌に起因するほか、し尿、下水、工場排水などの混入によっても増加します。水道水中に多いと渋みをつけます。 | |
| 47 pH値 | 5.8以上8.6以下であること | 基礎的性状 | 0から14の数値で表され、pH7が中性、7から小さくなるほど酸性が強くなり、7から大きくなるほどアルカリ性が強くなります。 | |
| 48 味 | 異常でないこと | | 水の味は、地質又は海水、工場排水、化学薬品などの混入及び藻類など生物の繁殖に伴うもののほか、水道水では使用される管の内面塗装などに起因することもあります。 | |
| 49 臭気 | 異常でないこと | | 水の臭気は、藻類など生物の繁殖、工場排水、下水の混入、地質などに伴うもののほか、水道水では使用される管の内面塗装剤などに起因することもあります。 | |
| 50 色度 | 5度以下 | | 水についている色の程度を示すもので、基準値の範囲内であれば無色な水といえます。 | |
| 51 濁度 | 2度以下 | | 水の濁りの程度を示すもので、基準値の範囲内であれば濁りのない透明な水といえます。 | |

◆原水の水質検査結果（浄水場着水井で採取した原水を水質検査した年間平均値）

| | 番号 | 項目 | 単位 | 原水(着水井) | 水質基準値 |
|----------------------------|----|------------------------------------|---------|------------|------------|
| | | 水温 | ℃ | 19.4 | — |
| 水 質 基 準 項 目 | 1 | 一般細菌 | 個/mL | 6 | 100以下 |
| | 2 | 大腸菌 | — | 不検出 | 検出されないこと |
| | 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | 0.0003未満 | 0.003以下 |
| | 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | 0.00005未満 | 0.0005以下 |
| | 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.010 | 0.01以下 |
| | 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | 0.002未満 | 0.02以下 |
| | 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.004未満 | 0.04以下 |
| | 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.4 | 10以下 |
| | 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.08未満 | 0.8以下 |
| | 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 0.2 | 1.0以下 |
| | 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| | 15 | 1,4-ジクロロベンゼン | mg/L | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | 16 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.04以下 |
| | 17 | ジクロロメタン | mg/L | 0.001未満 | 0.02以下 |
| | 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.0005未満 | 0.01以下 |
| | 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 20 | ベンゼン | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 21 | 塩素酸 | mg/L | — | 0.6以下 |
| | 22 | クロロ酢酸 | mg/L | — | 0.02以下 |
| | 23 | クロロホルム | mg/L | — | 0.06以下 |
| | 24 | ジクロロ酢酸 | mg/L | — | 0.03以下 |
| | 25 | ジブromクロロメタン | mg/L | — | 0.1以下 |
| | 26 | 臭素酸 | mg/L | — | 0.01以下 |
| | 27 | 総トリハロメタン | mg/L | — | 0.1以下 |
| | 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | — | 0.03以下 |
| | 29 | ブromジクロロメタン | mg/L | — | 0.03以下 |
| | 30 | ブromホルム | mg/L | — | 0.09以下 |
| | 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | — | 0.08以下 |
| | 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | 0.01未満 | 1.0以下 |
| | 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.02未満 | 0.2以下 |
| | 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 1.7 | 0.3以下 |
| | 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | 0.05未満 | 1.0以下 |
| | 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 30 | 200以下 |
| | 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.70 | 0.05以下 |
| | 38 | 塩化物イオン | mg/L | 26 | 200以下 |
| | 39 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | mg/L | 63 | 300以下 |
| | 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 185 | 500以下 |
| | 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | 0.02未満 | 0.2以下 |
| | 42 | ジオキシソルホン | mg/L | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| | 43 | 2-メチルイソプロパノール | mg/L | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| | 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | 0.005未満 | 0.02以下 |
| | 45 | フェノール類 | mg/L | 0.0005未満 | 0.005以下 |
| | 46 | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | mg/L | 0.6 | 3以下 |
| | 47 | pH値 | — | 6.8 | 5.8以上8.6以下 |
| | 48 | 味 | — | — | 異常でないこと |
| | 49 | 臭気 | — | 異常なし | 異常でないこと |
| | 50 | 色度 | 度 | 21 | 5以下 |
| | 51 | 濁度 | 度 | 6.3 | 2以下 |
| | 52 | 残留塩素 | mg/L | — | 0.1以上 |
| 自主 検査 項目 | 53 | アンモニウム態窒素 | mg/L | 0.63 | — |
| | 54 | アルカリ度 | mg/L | 88 | — |
| | 55 | 酸度 | mg/L | 37 | — |
| | 56 | 遊離炭酸 | mg/L | 32 | — |
| | 57 | 電気伝導率 | μS/cm | 253 | — |
| | 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 41 | — |
| | 59 | リン酸イオン | mg/L | 0.8 | — |
| | 60 | 硫酸イオン | mg/L | 8.7 | — |
| | 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | 0 | — |
| | 62 | クリプトスポリジウム及びジアルジア | — | 不検出 | — |

◆京都府営水の水質検査結果（第1、第2分水点で採水した府営水を水質検査した年間平均値）

| | 番号 | 項目 | 単位 | 府営水第1分水点 | 府営水第2分水点 | 水質基準値 |
|----------------------------|----|------------------------------------|---------|------------|------------|------------|
| | | 水温 | ℃ | 17.0 | 19.7 | — |
| 水 質 基 準 項 目 | 1 | 一般細菌 | 個/mL | 0 | 0 | 100以下 |
| | 2 | 大腸菌 | — | 不検出 | 不検出 | 検出されないこと |
| | 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.003以下 |
| | 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | 0.00005未満 | 0.00005未満 | 0.0005以下 |
| | 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.02以下 |
| | 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.04以下 |
| | 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.6 | 0.6 | 10以下 |
| | 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.8以下 |
| | 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 0.1未満 | 0.1未満 | 1.0以下 |
| | 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| | 15 | 1,4-ジクロロベンゼン | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | 16 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.04以下 |
| | 17 | ジクロロメタン | mg/L | 0.0001未満 | 0.0001未満 | 0.02以下 |
| | 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.01以下 |
| | 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 20 | ベンゼン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 21 | 塩素酸 | mg/L | 0.06未満 | 0.06未満 | 0.6以下 |
| | 22 | クロ酢酸 | mg/L | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.02以下 |
| | 23 | クロホルム | mg/L | 0.009 | 0.012 | 0.06以下 |
| | 24 | ジクロロ酢酸 | mg/L | 0.005 | 0.005 | 0.03以下 |
| | 25 | ジブromクロロメタン | mg/L | 0.001 | 0.001 | 0.1以下 |
| | 26 | 臭素酸 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 27 | 総トリハロメタン | mg/L | 0.015 | 0.018 | 0.1以下 |
| | 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | 0.006 | 0.008 | 0.03以下 |
| | 29 | ブromジクロロメタン | mg/L | 0.005 | 0.005 | 0.03以下 |
| | 30 | ブromホルム | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.09以下 |
| | 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | 0.008未満 | 0.008未満 | 0.08以下 |
| | 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | 0.01未満 | 0.01未満 | 1.0以下 |
| | 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.03 | 0.03 | 0.2以下 |
| | 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 0.01未満 | 0.01未満 | 0.3以下 |
| | 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | 0.05未満 | 0.05未満 | 1.0以下 |
| | 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 7.6 | 7.5 | 200以下 |
| | 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | 38 | 塩化物イオン | mg/L | 10 | 10 | 200以下 |
| | 39 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | mg/L | 34 | 34 | 300以下 |
| | 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 81 | 77 | 500以下 |
| | 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | 0.02未満 | 0.02未満 | 0.2以下 |
| | 42 | ジエタノール | mg/L | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| | 43 | 2-メルカプトエタノール | mg/L | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| | 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.02以下 |
| | 45 | フェノール類 | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.005以下 |
| | 46 | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | mg/L | 0.8 | 0.8 | 3以下 |
| | 47 | pH値 | — | 7.4 | 7.4 | 5.8以上8.6以下 |
| | 48 | 味 | — | 異常なし | 異常なし | 異常でないこと |
| | 49 | 臭気 | — | 異常なし | 異常なし | 異常でないこと |
| | 50 | 色度 | 度 | 0.5未満 | 0.5未満 | 5以下 |
| | 51 | 濁度 | 度 | 0.1未満 | 0.1未満 | 2以下 |
| | 52 | 残留塩素 | mg/L | 0.6 | 0.5 | 0.1以上 |
| 自主 検査 項目 | 53 | アンモニア態窒素 | mg/L | 0.05未満 | 0.05未満 | — |
| | 54 | アルカリ度 | mg/L | 31 | 29 | — |
| | 55 | 酸度 | mg/L | 3.3 | 2.9 | — |
| | 56 | 遊離炭酸 | mg/L | 2.9 | 2.6 | — |
| | 57 | 電気伝導率 | μS/cm | 110 | 110 | — |
| | 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 9.0 | 9.0 | — |
| | 59 | リン酸イオン | mg/L | 0.01未満 | 0.01未満 | — |
| | 60 | 硫酸イオン | mg/L | 8.6 | 8.6 | — |
| | 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | 0 | 0 | — |

◆浄水の水質検査結果（配水管末の給水栓から採水した浄水を水質検査した年間平均値）

| 番号 | 項目 | 単位 | 物集女給水区域 | | | 水道水質基準値 |
|----|------------------------------------|---------|------------|------------|--------------------|------------|
| | | | 寺戸町八反田 | 森本町上町田 | 上植野給水区域 上植野町庄ノ内 | |
| | 水温 | ℃ | 20.4 | 18.9 | 19.8 | — |
| 1 | 一般細菌 | 個/mL | 0 | 0 | 0 | 100以下 |
| 2 | 大腸菌 | — | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 検出されないこと |
| 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.0003未満 | 0.003以下 |
| 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | 0.00005未満 | 0.00005未満 | 0.00005未満 | 0.0005以下 |
| 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.02以下 |
| 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.04以下 |
| 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.5 | 0.5 | 0.6 | 10以下 |
| 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.8以下 |
| 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 0.1未満 | 0.1未満 | 0.1未満 | 1.0以下 |
| 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| 15 | 1,4-ジクロロベンゼン | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| 16 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.04以下 |
| 17 | ジクロロメタン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.02以下 |
| 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.01以下 |
| 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 20 | ベンゼン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 21 | 塩素酸 | mg/L | 0.20 | 0.20 | 0.17 | 0.6以下 |
| 22 | クロ酢酸 | mg/L | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.02以下 |
| 23 | クロホルム | mg/L | 0.010 | 0.010 | 0.012 | 0.06以下 |
| 24 | ジクロロ酢酸 | mg/L | 0.007 | 0.007 | 0.008 | 0.03以下 |
| 25 | ジブromクロロメタン | mg/L | 0.004 | 0.004 | 0.004 | 0.1以下 |
| 26 | 臭素酸 | mg/L | 0.001 | 0.001 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 27 | 総トリハロメタン | mg/L | 0.022 | 0.021 | 0.024 | 0.1以下 |
| 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | 0.008 | 0.009 | 0.010 | 0.03以下 |
| 29 | ブromジクロロメタン | mg/L | 0.007 | 0.007 | 0.008 | 0.03以下 |
| 30 | ブromホルム | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.09以下 |
| 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | 0.008未満 | 0.008未満 | 0.008未満 | 0.08以下 |
| 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | 0.01未満 | 0.01未満 | 0.01未満 | 1.0以下 |
| 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.02未満 | 0.02未満 | 0.02未満 | 0.2以下 |
| 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 0.01未満 | 0.01未満 | 0.01未満 | 0.3以下 |
| 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | 0.05未満 | 0.05未満 | 0.05未満 | 1.0以下 |
| 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 20 | 20 | 19 | 200以下 |
| 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| 38 | 塩化物イオン | mg/L | 21 | 21 | 20 | 200以下 |
| 39 | カルシウム、マグネシウム等（硬度） | mg/L | 46 | 46 | 46 | 300以下 |
| 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 128 | 128 | 125 | 500以下 |
| 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | 0.02未満 | 0.02未満 | 0.02未満 | 0.2以下 |
| 42 | ジオキソシン | mg/L | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| 43 | 2-メチルイソボルネオール | mg/L | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.000001未満 | 0.00001以下 |
| 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.02以下 |
| 45 | フェノール類 | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.005以下 |
| 46 | 有機物（全有機炭素（TOC）の量） | mg/L | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 3以下 |
| 47 | pH値 | — | 7.2 | 7.2 | 7.3 | 5.8以上8.6以下 |
| 48 | 味 | — | 異常なし | 異常なし | 異常なし | 異常でないこと |
| 49 | 臭気 | — | 異常なし | 異常なし | 異常なし | 異常でないこと |
| 50 | 色度 | 度 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 5以下 |
| 51 | 濁度 | 度 | 0.1未満 | 0.1未満 | 0.1未満 | 2以下 |
| 52 | 残留塩素 | mg/L | 1.0 | 1.1 | 0.9 | 0.1以上 |
| 53 | アンモニア態窒素 | mg/L | 0.05未満 | 0.05未満 | 0.05未満 | — |
| 54 | アルカリ度 | mg/L | 54 | 54 | 51 | — |
| 55 | 酸度 | mg/L | 7.7 | 8.3 | 7.1 | — |
| 56 | 遊離炭酸 | mg/L | 6.8 | 7.3 | 6.4 | — |
| 57 | 電気伝導率 | μS/cm | 182 | 183 | 177 | — |
| 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 24 | 23 | 22 | — |
| 59 | リン酸イオン | mg/L | 0.07 | 0.06 | 0.06 | — |
| 60 | 硫酸イオン | mg/L | 9 | 9 | 9 | — |
| 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | 0 | 0 | 0 | — |

◆水質管理目標設定項目

評価値が暫定であったり検出レベルは高くないものの水道水質管理上注意喚起すべき項目

| 番号 | 項目 | 単位 | 物集女西系統 | 目標値 |
|----|---|------|----------|-------------------------|
| 1 | アンチモン及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.02以下 |
| 2 | ウラン及びその化合物 | mg/L | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| 3 | ニッケル及びその化合物 | mg/L | 0.001未満 | 0.02以下 |
| 5 | 1,2-ジクロロエタン | mg/L | 0.0004未満 | 0.004以下 |
| 8 | トルエン | mg/L | 0.04未満 | 0.4以下 |
| 9 | フタル酸ジ(2-エチルヘキシル) | mg/L | 0.008未満 | 0.08以下 |
| 10 | 亜塩素酸 | mg/L | 0.06未満 | 0.6以下 |
| 12 | 二酸化塩素 | mg/L | 0.06未満 | 0.6以下 |
| 13 | ジクロロアセトリル | mg/L | 0.001未満 | 0.01以下 |
| 14 | 抱水コロアル | mg/L | 0.002未満 | 0.02以下 |
| 15 | 農薬類(118項目)(別表に記載) | | | 検出値と目標値の比の和として、1以下 |
| 16 | 残留塩素 | mg/L | 1.2 | 1以下 |
| 17 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | mg/L | 50 | 10以上100以下 |
| 18 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.005未満 | 0.01以下 |
| 19 | 遊離炭酸 | mg/L | 7.1 | 20以下 |
| 20 | 1,1,1-トリクロロエタン | mg/L | 0.03未満 | 0.3以下 |
| 21 | メチル-tert-ブチルエーテル | mg/L | 0.002未満 | 0.02以下 |
| 22 | 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | mg/L | 1.5 | 3以下 |
| 23 | 臭気強度(TON) | — | 1未満 | 3以下 |
| 24 | 蒸発残留物 | mg/L | 140 | 30以上200以下 |
| 25 | 濁度 | 度 | 0.1未満 | 1以下 |
| 26 | pH値 | — | 7.3 | 7.5程度 |
| 27 | 腐食性(ランゲリア指数) | — | -1.3 | -1程度以上とし、極力0に近づける |
| 28 | 従属栄養細菌 | 1mL中 | 0 | 1mLの検水で形成される集落数が2,000以下 |
| 29 | 1,1-ジクロロエレン | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 30 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.03 | 0.1以下 |
| 31 | ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) ペルフルオロオクタタン酸(POFA) | mg/L | 0.000008 | 0.00005以下 |

採水場所 浄水 管末給水栓(森本町上町田)

検査方法 厚生労働省が定める方法

※ 4・6・7・11は欠番

※ 目標値は、厚生労働省が設定したより質の高い水道水の供給をめざすための数値目標です。

別表
農薬類

| 番号 | 項目 | 単位 | 物集女西系統 | 目標値 |
|----|-------------------------------|------|------------|----------|
| 1 | 1,3-ジクロロプロペン (D-D) | mg/L | 0.0001未満 | 0.05以下 |
| 2 | 2,2-DPA(ダラボン) | mg/L | 0.0008未満 | 0.08以下 |
| 3 | 2,4-D(2,4-PA) | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 4 | EPN | mg/L | 0.00004未満 | 0.004以下 |
| 5 | MCPA | mg/L | 0.0001未満 | 0.005以下 |
| 6 | アシュラム | mg/L | 0.009未満 | 0.9以下 |
| 7 | アセフェート | mg/L | 0.0002未満 | 0.006以下 |
| 8 | アトラジン | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 9 | アニコホス | mg/L | 0.00003未満 | 0.003以下 |
| 10 | アミトラス | mg/L | 0.0002未満 | 0.006以下 |
| 11 | アラクロール | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 12 | イソキサチオン | mg/L | 0.00005未満 | 0.005以下 |
| 13 | イソフェンホス | mg/L | 0.00003未満 | 0.001以下 |
| 14 | イソプロカルブ (MIPC) | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 15 | イソプロチオン (IPT) | mg/L | 0.003未満 | 0.3以下 |
| 16 | イソフェンカルハゾン | mg/L | 0.00004未満 | 0.002以下 |
| 17 | イプロベンホス (IBP) | mg/L | 0.0009未満 | 0.09以下 |
| 18 | イミノキサジン | mg/L | 0.00006未満 | 0.006以下 |
| 19 | インダノファン | mg/L | 0.00009未満 | 0.009以下 |
| 20 | エスプロカルブ | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 21 | エトフェンブロックス | mg/L | 0.0008未満 | 0.08以下 |
| 22 | エンドスルファン(ベンゾエピン) | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 23 | オキサジクロメホン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 24 | オキシ銅(有機銅) | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 25 | オキサストロビン | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 26 | カズサホス | mg/L | 0.000006未満 | 0.0006以下 |
| 27 | カフェンストール | mg/L | 0.00008未満 | 0.008以下 |
| 28 | カルタップ | mg/L | 0.0008未満 | 0.08以下 |
| 29 | カルハール (NAC) | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 30 | カルボフラン | mg/L | 0.00003未満 | 0.0003以下 |
| 31 | キノクラミン (ACN) | mg/L | 0.00005未満 | 0.005以下 |
| 32 | キャブタン | mg/L | 0.003未満 | 0.3以下 |
| 33 | クミロン | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 34 | グリホサート | mg/L | 0.02未満 | 2以下 |
| 35 | グロホシネート | mg/L | 0.001未満 | 0.02以下 |
| 36 | クロムプロップ | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 37 | クロニトロフェン (CNP) | mg/L | 0.00003未満 | 0.0001以下 |
| 38 | クロヒリホス | mg/L | 0.00003未満 | 0.003以下 |
| 39 | クロロタロニル (TPN) | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 40 | シアナジン | mg/L | 0.00003未満 | 0.001以下 |
| 41 | シアノホス (CYAP) | mg/L | 0.00003未満 | 0.003以下 |
| 42 | ジウロン (DCMU) | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 43 | ジクロベニル (DBN) | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 44 | ジクロロホス (DDVP) | mg/L | 0.00008未満 | 0.008以下 |
| 45 | ジクワット | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 46 | ジスルトン(エチルチオメトン) | mg/L | 0.00004未満 | 0.004以下 |
| 47 | ジチオカルバメート系農薬 | mg/L | 0.002未満 | 0.005以下 |
| 48 | ジチオピル | mg/L | 0.00009未満 | 0.009以下 |
| 49 | シハロホップフチル | mg/L | 0.00006未満 | 0.006以下 |
| 50 | シマジン (CAT) | mg/L | 0.00003未満 | 0.003以下 |
| 51 | ジメタメリン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 52 | ジメトエート | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 53 | シメトリン | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 54 | ダイアジン | mg/L | 0.00003未満 | 0.003以下 |
| 55 | ダイムロン | mg/L | 0.008未満 | 0.8以下 |
| 56 | ダゾメット、メナム(カーバム)及びメチルイソチオシアネート | mg/L | 0.0002未満 | 0.01以下 |
| 57 | チアジニル | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |

別表
農薬類

| 番号 | 項目 | 単位 | 物集女西系統 | 目標値 |
|-----|--|------|------------|----------|
| 58 | チウラム | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 59 | チオジ ^ン カルブ ^ン | mg/L | 0.0008未満 | 0.08以下 |
| 60 | チオファネートメチル | mg/L | 0.003未満 | 0.3以下 |
| 61 | チオヘ ^ン カルブ ^ン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 62 | テフリルトリオン | mg/L | 0.0001未満 | 0.002以下 |
| 63 | テルブ ^ン カルブ ^ン (MBPMC) | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 64 | トリクロピ ^ル | mg/L | 0.00006未満 | 0.006以下 |
| 65 | トリクロルホン (DEP) | mg/L | 0.00005未満 | 0.005以下 |
| 66 | トリシクラゾ ^{ール} | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 67 | トリフルラリン | mg/L | 0.0006未満 | 0.06以下 |
| 68 | ナブ ^ン ロバ ^ン ミト ^ン | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 69 | ハ ^ン ラコート | mg/L | 0.0005未満 | 0.005以下 |
| 70 | ヒ ^ン ヘ ^ン ロホス | mg/L | 0.00003未満 | 0.0009以下 |
| 71 | ヒ ^ン ラクロニル | mg/L | 0.0002未満 | 0.01以下 |
| 72 | ヒ ^ン ラゾ ^ン キシフェン | mg/L | 0.00004未満 | 0.004以下 |
| 73 | ヒ ^ン ラゾ ^ン リネート (ヒ ^ン ラゾ ^ン レート) | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 74 | ヒ ^ン リタ ^ン フェンチオン | mg/L | 0.00003未満 | 0.002以下 |
| 75 | ヒ ^ン リブ ^ン チカルブ ^ン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 76 | ヒ ^ン ロキロン | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 77 | フィブ ^ン ロニル | mg/L | 0.000005未満 | 0.0005以下 |
| 78 | フェントロチオン (MEP) | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 79 | フェノブ ^ン カルブ ^ン (BPMC) | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 80 | フェリムゾ ^ン | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 81 | フェンチオン (MPP) | mg/L | 0.00006未満 | 0.006以下 |
| 82 | フェントエート (PAP) | mg/L | 0.00007未満 | 0.007以下 |
| 83 | フェントラサ ^ン ミト ^ン | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 84 | フサライト ^ン | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 85 | ブ ^ン タクロール | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 86 | ブ ^ン タミホス | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 87 | ブ ^ン プロフェジ ^ン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 88 | フルアジ ^ン ナム | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 89 | ブ ^ン レチラクロール | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 90 | ブ ^ン ロシミト ^ン | mg/L | 0.0009未満 | 0.09以下 |
| 91 | ブ ^ン ロチオホス | mg/L | 0.00007未満 | 0.007以下 |
| 92 | ブ ^ン ロビ ^ン コナゾ ^{ール} | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 93 | ブ ^ン ロビ ^ン サ ^ン ミト ^ン | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 94 | ブ ^ン ロヘ ^ン ナゾ ^{ール} | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 95 | ブ ^ン ロモブ ^ン チト ^ン | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 96 | ベ ^ン ノミル | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 97 | ベ ^ン シクロン | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 98 | ベ ^ン ソ ^ン ヒ ^ン シクロン | mg/L | 0.0009未満 | 0.09以下 |
| 99 | ベ ^ン ソ ^ン フェナップ ^ン | mg/L | 0.0001未満 | 0.005以下 |
| 100 | ベンタゾ ^ン | mg/L | 0.002未満 | 0.2以下 |
| 101 | ベンデ ^ン イメタリン | mg/L | 0.003未満 | 0.3以下 |
| 102 | ベンフ ^ン ラカルブ ^ン | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 103 | ベンフルラリン (ヘ ^ン スロジ ^ン) | mg/L | 0.0001未満 | 0.01以下 |
| 104 | ベンフレセート | mg/L | 0.0007未満 | 0.07以下 |
| 105 | ホスチアセ ^{ート} | mg/L | 0.0001未満 | 0.005以下 |
| 106 | マラチオン (マラソン) | mg/L | 0.007未満 | 0.7以下 |
| 107 | メコブ ^ン ロップ ^ン (MCP) | mg/L | 0.0005未満 | 0.05以下 |
| 108 | メソミル | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 109 | メタラキシル | mg/L | 0.002未満 | 0.2以下 |
| 110 | メチタ ^ン チオン (DMTP) | mg/L | 0.00004未満 | 0.004以下 |
| 111 | メトミノストロピ ^ン | mg/L | 0.0004未満 | 0.04以下 |
| 112 | メトリブ ^ン ジ ^ン | mg/L | 0.0003未満 | 0.03以下 |
| 113 | メフェナセ ^{ート} | mg/L | 0.0002未満 | 0.02以下 |
| 114 | メブ ^ン ロニル | mg/L | 0.001未満 | 0.1以下 |
| 115 | モリネート | mg/L | 0.00005未満 | 0.005以下 |

◆取水井戸（原水）の水質検査結果（取水井戸で採取した原水を水質検査した年間平均値）

| | 番号 | 項目名 | 単位 | 第7号 | 第10号 | 第11号 | 第12号 | 水質基準値 (※) |
|--------|------|---------------------------------------|---------|----------|----------|----------|------------|--------------|
| | | 水温 | ℃ | 20.0 | 17.6 | 21.4 | 20.5 | — |
| 水質基準項目 | 1 | 一般細菌 | 個/mL | 0 | 4 | 0 | 0 | 100以下 |
| | 2 | 大腸菌 | — | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 検出されないこと |
| | 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.003以下 |
| | 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.0005以下 |
| | 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.018 | 0.001 | 0.004 | 0.004 | 0.01以下 |
| | 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.010 | 0.008 | 0.04以下 |
| | 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.1未満 | 1.6 | 0.15未満 | 0.1未満 | 10以下 |
| | 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.10 | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.8以下 |
| | 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 0.2 | 0.1未満 | 0.2 | 0.1 | 1.0以下 |
| | 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| | 15 | 1,4-ジ'オキサン | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | 16 | ジ'ス-1,2-ジ'クロロエチレン及びトランス-1,2-ジ'クロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.04以下 |
| | 17 | ジ'クロロメタン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.02以下 |
| | 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.01以下 |
| | 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 20 | ベンゼン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 21 | 塩素酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.6以下 |
| | 22 | クロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 23 | クロホルム | mg/L | — | — | — | — | 0.06以下 |
| | 24 | ジ'クロロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 25 | ジ'ブ'ロモクロロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.1以下 |
| | 26 | 臭素酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 27 | 総トリハロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.1以下 |
| | 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 29 | ブ'ロモジ'クロロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 30 | ブ'ロモホルム | mg/L | — | — | — | — | 0.09以下 |
| | 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | — | — | — | — | 0.08以下 |
| | 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 1.0以下 |
| | 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.2以下 |
| | 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 1.9 | 0.27 | 1.9 | 2.5 | 0.3以下 |
| | 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 1.0以下 |
| | 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 34 | 13 | 28 | 28 | 200以下 |
| | 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.58 | 0.36 | 0.72 | 0.71 | 0.05以下 |
| | 38 | 塩化物イオン | mg/L | 21 | 12 | 14 | 20 | 200以下 |
| | 39 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | mg/L | 47 | 65 | 55 | 60 | 300以下 |
| | 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 183 | 170 | 210 | 195 | 500以下 |
| | 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | — | — | — | — | 0.2以下 |
| | 42 | ジオキシシン | mg/L | — | — | — | — | 0.00001以下 |
| | 43 | 2-メチルイソ'ルネオール | mg/L | — | — | — | — | 0.00001以下 |
| | 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 45 | フェノール類 | mg/L | — | — | — | — | 0.005以下 |
| | 46 | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | mg/L | 0.9 | 0.3未満 | 0.8 | 0.5 | 3以下 |
| 47 | pH値 | — | 7.2 | 6.1 | 7.0 | 7.0 | 5.8以上8.6以下 | |
| 48 | 味 | — | — | — | — | — | 異常でないこと | |
| 49 | 臭気 | — | 硫化水素臭 | 異常なし | 異常なし | 硫化水素臭 | 異常でないこと | |
| 50 | 色度 | 度 | 24 | 1.3 | 29 | 35 | 5以下 | |
| 51 | 濁度 | 度 | 0.3 | 0.8 | 5.6 | 2.7 | 2以下 | |
| 52 | 残留塩素 | mg/L | — | — | — | — | 0.1以上 | |
| 自主検査項目 | 53 | アンモニア態窒素 | mg/L | 0.66 | 0.21 | 1.8 | 1.7 | — |
| | 54 | アルカリ度 | mg/L | 90 | 41 | 96 | 99 | — |
| | 55 | 酸度 | mg/L | 15 | 82 | 29 | 27 | — |
| | 56 | 遊離炭酸 | mg/L | 13 | 73 | 25 | 24 | — |
| | 57 | 電気伝導率 | μS/cm | 223 | 198 | 215 | 243 | — |
| | 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 39 | 35 | 57 | 48 | — |
| | 59 | リン酸イオン | mg/L | 2.3 | 0.31 | 1.7 | 1.6 | — |
| | 60 | 硫酸イオン | mg/L | 1未満 | 33 | 4.5 | 2.5 | — |
| | 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | 0 | 0 | 0 | 0 | — |

(※) 水質基準値は、浄水に対する基準値であるため、参考値です。

◆取水井戸（原水）の水質検査結果（取水井戸で採取した原水を水質検査した年間平均値）

| | 番号 | 項目名 | 単位 | 第15号 | 第16号 | 第20号 | 第22号 | 水質基準値 (※) |
|--------|------|--------------------------------------|---------|----------|----------|----------|------------|--------------|
| | | 水温 | ℃ | 20.5 | 19.3 | 17.1 | 19.7 | — |
| 水質基準項目 | 1 | 一般細菌 | 個/mL | 50 | 0 | 0 | 21 | 100以下 |
| | 2 | 大腸菌 | — | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 検出されないこと |
| | 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.003以下 |
| | 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.0005以下 |
| | 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.028 | 0.009 | 0.001未満 | 0.017 | 0.01以下 |
| | 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.004未満 | 0.04以下 |
| | 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.1未満 | 0.1未満 | 2.4 | 0.1未満 | 10以下 |
| | 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.08未満 | 0.8以下 |
| | 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 0.5 | 0.1未満 | 0.1未満 | 0.1 | 1.0以下 |
| | 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.0002未満 | 0.002以下 |
| | 15 | 1,4-ジ'ホキソ | mg/L | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | 16 | シス-1,2-ジ'クロロエチレン及びトランス-1,2-ジ'クロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.04以下 |
| | 17 | ジ'クロロメタン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.02以下 |
| | 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.0005未満 | 0.01以下 |
| | 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 20 | ベンゼン | mg/L | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.01以下 |
| | 21 | 塩素酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.6以下 |
| | 22 | クロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 23 | クロホルム | mg/L | — | — | — | — | 0.06以下 |
| | 24 | ジ'クロロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 25 | ジ'ブ'ロモクロロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.1以下 |
| | 26 | 臭素酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.01以下 |
| | 27 | 総トリハロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.1以下 |
| | 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 29 | ブ'ロモジ'クロロメタン | mg/L | — | — | — | — | 0.03以下 |
| | 30 | ブ'ロモホルム | mg/L | — | — | — | — | 0.09以下 |
| | 31 | ホルムアルデ'ヒド | mg/L | — | — | — | — | 0.08以下 |
| | 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 1.0以下 |
| | 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 0.2以下 |
| | 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 3.7 | 4.7 | 0.35 | 4.9 | 3以下 |
| | 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | — | — | — | — | 1.0以下 |
| | 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 60 | 30 | 15 | 34 | 200以下 |
| | 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.9 | 1.4 | 0.06 | 0.87 | 0.05以下 |
| | 38 | 塩化物イオン | mg/L | 80 | 37 | 16 | 24 | 200以下 |
| | 39 | カルシウム、マグ'ネシウム等(硬度) | mg/L | 89 | 87 | 48 | 73 | 300以下 |
| | 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 295 | 220 | 140 | 247 | 500以下 |
| | 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | — | — | — | — | 0.2以下 |
| | 42 | ジ'ェオキシ | mg/L | — | — | — | — | 0.00001以下 |
| | 43 | 2-メチルイ'ホ'ルネール | mg/L | — | — | — | — | 0.00001以下 |
| | 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | — | — | — | — | 0.02以下 |
| | 45 | フェ'ノール類 | mg/L | — | — | — | — | 0.005以下 |
| | 46 | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | mg/L | 0.7 | 0.4 | 0.3未満 | 0.9 | 3以下 |
| 47 | pH値 | — | 7.1 | 6.9 | 6.0 | 7.1 | 5.8以上8.6以下 | |
| 48 | 味 | — | — | — | — | — | 異常でないこと | |
| 49 | 臭気 | — | 硫化水素臭 | 硫化水素臭 | 異常なし | 硫化水素臭 | 異常でないこと | |
| 50 | 色度 | 度 | 68 | 52 | 1.2 | 41 | 5以下 | |
| 51 | 濁度 | 度 | 16 | 11 | 1.2 | 23 | 2以下 | |
| 52 | 残留塩素 | mg/L | — | — | — | — | 0.1以上 | |
| 自主検査項目 | 53 | アンモニア態窒素 | mg/L | 0.78 | 0.58 | 0.05未満 | 0.73 | — |
| | 54 | アルカリ度 | mg/L | 108 | 94 | 31 | 110 | — |
| | 55 | 酸度 | mg/L | 23 | 36 | 68 | 23 | — |
| | 56 | 遊離炭酸 | mg/L | 21 | 32 | 60 | 21 | — |
| | 57 | 電気伝導率 | mS/m | 458 | 303 | 180 | 280 | — |
| | 58 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 34 | 43 | 29 | 42 | — |
| | 59 | リン酸イオン | mg/L | 2.5 | 0.83 | 0.04 | 2.1 | — |
| | 60 | 硫酸イオン | mg/L | 0.2未満 | 11 | 21 | 7.2 | — |
| | 61 | 嫌気性芽胞菌 | 個/100mL | 0 | 0 | 0 | 0 | — |

(※) 水質基準値は、浄水に対する基準値であるため、参考値です。

4 経営

(1) 財務の状況(消費税抜)

◆ 決算状況の推移

| 区 分 | | (単位:円) | | | | (単位:円) | | | | | |
|---|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------|
| | | 令和2年度 | 前年対比(%) | 令和3年度 | 前年対比(%) | 令和4年度 | 前年対比(%) | 令和5年度 | 前年対比(%) | 令和6年度 | 前年対比(%) |
| 取 益 的 取 入 及 び 支 出 | 事業収益(A) | 1,234,430,494 | 95.1 | 1,221,362,001 | 98.9 | 1,213,027,653 | 99.3 | 1,213,911,348 | 100.1 | 1,209,552,907 | 99.6 |
| | 営業収益 | 1,104,658,090 | 94.9 | 1,025,715,112 | 92.9 | 1,009,790,742 | 98.4 | 945,971,642 | 93.7 | 999,035,804 | 105.6 |
| | 給水収益 | 1,028,244,599 | 94.1 | 956,201,317 | 93.0 | 952,442,744 | 99.6 | 888,290,040 | 93.3 | 941,423,159 | 106.0 |
| | 受託工事収益 | 33,205,000 | 116.3 | 28,358,000 | 85.4 | 22,915,000 | 80.8 | 26,705,000 | 116.5 | 30,512,181 | 114.3 |
| | その他の営業収益 | 43,208,491 | 100.3 | 41,155,795 | 95.2 | 34,432,998 | 83.7 | 30,976,602 | 90.0 | 27,100,464 | 87.5 |
| | 営業外収益 | 129,772,404 | 97.6 | 195,646,889 | 150.8 | 202,694,152 | 103.6 | 267,939,706 | 132.2 | 210,517,103 | 78.6 |
| | 受取利息 | 331,628 | 108.0 | 360,256 | 108.6 | 347,924 | 96.6 | 507,133 | 145.8 | 1,818,856 | 358.7 |
| | 雑収益 | 9,836,848 | 96.5 | 11,355,887 | 115.4 | 10,722,234 | 94.4 | 10,793,568 | 100.7 | 12,452,736 | 115.4 |
| | 他会計補助金 | 583,000 | 皆増 | 63,776,251 | 10,939.3 | 65,209,842 | 102.2 | 130,754,999 | 200.5 | 65,569,665 | 50.1 |
| | 引当金戻入益 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| | 長期前受金戻入益 | 119,020,928 | 97.2 | 120,154,495 | 101.0 | 126,414,152 | 105.2 | 125,884,006 | 99.6 | 130,675,846 | 103.8 |
| | 特別利益 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 542,759 | 皆増 | 0 | 皆減 | 0 | — |
| | 事業費用(B) | 1,060,789,156 | 97.1 | 1,062,414,836 | 100.2 | 1,151,480,413 | 108.4 | 1,186,606,493 | 103.1 | 1,181,132,861 | 99.5 |
| | 営業費用 | 1,027,774,255 | 97.2 | 1,030,021,080 | 100.2 | 1,120,899,275 | 108.8 | 1,157,011,133 | 103.2 | 1,153,700,376 | 99.7 |
| | 原水及び浄水費 | 513,750,171 | 95.3 | 528,972,372 | 103.0 | 600,617,590 | 113.5 | 617,643,550 | 102.8 | 599,381,207 | 97.0 |
| | 配水及び給水費 | 89,979,706 | 87.5 | 74,967,188 | 83.3 | 74,323,720 | 99.1 | 84,109,276 | 113.2 | 76,843,241 | 91.4 |
| | 受託工事費 | 33,263,021 | 113.5 | 30,116,376 | 90.5 | 28,372,255 | 94.2 | 33,193,299 | 117.0 | 38,346,710 | 115.5 |
| 業務費 | 47,873,354 | 皆増 | 50,220,974 | 104.9 | 48,555,501 | 96.7 | 54,850,499 | 113.0 | 62,460,251 | 113.9 | |
| 総係費 | 49,962,062 | 51.1 | 50,006,991 | 100.1 | 51,603,880 | 103.2 | 46,876,470 | 90.8 | 45,237,014 | 96.5 | |
| 減価償却費 | 291,327,455 | 105.7 | 294,182,373 | 101.0 | 314,132,715 | 106.8 | 317,820,430 | 101.2 | 324,966,835 | 102.2 | |
| 資産減耗費 | 1,618,486 | 12.5 | 1,554,806 | 96.1 | 3,293,614 | 211.8 | 2,517,609 | 76.4 | 6,465,118 | 256.8 | |
| 営業外費用 | 31,939,747 | 92.7 | 29,662,396 | 92.9 | 28,100,320 | 94.7 | 26,918,187 | 95.8 | 26,847,597 | 99.7 | |
| 支払利息 | 31,908,995 | 92.8 | 29,625,779 | 92.8 | 28,064,636 | 94.7 | 26,869,291 | 95.7 | 26,826,709 | 99.8 | |
| 雑支出 | 30,752 | 50.6 | 36,617 | 119.1 | 35,684 | 97.5 | 48,896 | 137.0 | 20,888 | 42.7 | |
| 特別損失 | 1,075,154 | 137.8 | 2,731,360 | 254.0 | 2,480,818 | 90.8 | 2,677,173 | 107.9 | 584,888 | 21.8 | |
| 純利益(△損失)(A)-(B) | 173,641,338 | 85.0 | 158,947,165 | 91.5 | 61,547,240 | 38.7 | 27,304,855 | 44.4 | 28,420,046 | 104.1 | |
| 資 本 的 取 入 及 び 支 出 | 資本的収入(C) | 213,558,700 | 77.2 | 414,330,900 | 194.0 | 221,569,181 | 53.5 | 362,771,000 | 163.7 | 322,850,200 | 89.0 |
| | 企業債 | 140,000,000 | 79.5 | 313,100,000 | 223.6 | 172,500,000 | 55.1 | 219,200,000 | 127.1 | 177,900,000 | 81.2 |
| | 工事負担金 | 39,484,000 | 84.6 | 36,145,000 | 91.5 | 22,175,000 | 61.4 | 119,239,000 | 537.7 | 120,792,000 | 101.3 |
| | 新規給水加入金 | 32,534,700 | 114.4 | 32,166,200 | 98.9 | 26,894,181 | 83.6 | 24,332,000 | 90.5 | 24,158,200 | 99.3 |
| | 補助金 | 1,540,000 | 6.0 | 32,919,700 | 2,137.6 | 0 | 0.0 | 0 | — | 0 | — |
| | 資本的支出(D) | 388,689,252 | 60.5 | 713,386,587 | 183.5 | 471,991,665 | 66.2 | 634,274,800 | 134.4 | 486,882,767 | 76.8 |
| | 建設改良費 | 217,999,735 | 45.0 | 527,131,290 | 241.8 | 256,299,604 | 48.6 | 406,999,795 | 158.8 | 252,593,446 | 62.1 |
| | 企業債償還金 | 167,371,189 | 108.3 | 186,255,297 | 111.3 | 215,692,061 | 115.8 | 224,083,304 | 103.9 | 234,277,241 | 104.5 |
| 補助金返還金 | 3,318,328 | 113.0 | 0 | 皆減 | 0 | 皆減 | 3,191,701 | 皆増 | 12,080 | 0.4 | |
| (C)-(D) | △ 175,130,552 | 47.9 | △ 299,055,687 | 170.8 | △ 250,422,484 | 83.7 | △ 271,503,800 | 108.4 | △ 164,032,567 | 60.4 | |

◆ 貸借対照表の推移

資産の部(借方)

| 区 分 | (単位:円) | | | | (単位:円) | | | | | |
|----------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|
| | 令和2年度 | 前年対比(%) | 令和3年度 | 前年対比(%) | 令和4年度 | 前年対比(%) | 令和5年度 | 前年対比(%) | 令和6年度 | 前年対比(%) |
| 固定資産 | 8,469,459,557 | 99.1 | 8,700,853,668 | 102.7 | 8,641,443,533 | 99.3 | 8,728,105,289 | 101.0 | 8,649,266,782 | 99.1 |
| 有形固定資産 | 8,430,302,457 | 99.2 | 8,637,289,669 | 102.5 | 8,588,408,235 | 99.4 | 8,689,138,692 | 101.2 | 8,625,088,882 | 99.3 |
| 土地 | 955,933,203 | 100.0 | 955,933,203 | 100.0 | 955,933,203 | 100.0 | 955,933,203 | 100.0 | 955,933,203 | 100.0 |
| 建物 | 190,593,935 | 96.6 | 183,955,629 | 96.5 | 177,379,216 | 96.4 | 170,829,227 | 96.3 | 164,279,238 | 96.2 |
| 構築物 | 6,879,604,380 | 99.5 | 6,944,228,621 | 100.9 | 6,938,260,776 | 99.9 | 6,953,325,482 | 100.2 | 7,027,657,861 | 101.1 |
| 機械及び装置 | 371,870,889 | 93.3 | 533,137,672 | 143.4 | 497,082,916 | 93.2 | 479,443,862 | 96.5 | 456,102,191 | 95.1 |
| 車輛及び運搬具 | 868,825 | 100.0 | 868,825 | 100.0 | 868,825 | 100.0 | 821,925 | 94.6 | 821,925 | 100.0 |
| 工具器具及び備品 | 11,699,225 | 90.5 | 10,330,719 | 88.3 | 10,048,299 | 97.3 | 9,378,993 | 93.3 | 6,215,373 | 66.3 |
| 建設仮勘定 | 19,732,000 | 100.0 | 8,835,000 | 44.8 | 8,835,000 | 100.0 | 119,406,000 | 1,351.5 | 14,079,091 | 11.8 |
| 無形固定資産 | 30,557,100 | 81.4 | 54,963,999 | 179.9 | 44,435,298 | 80.8 | 30,366,597 | 68.3 | 15,577,900 | 51.3 |
| 電話加入権 | 136,700 | 100.0 | 136,700 | 100.0 | 136,700 | 100.0 | 136,700 | 100.0 | 136,700 | 100.0 |
| ソフトウェア | 30,420,400 | 81.3 | 54,827,299 | 180.2 | 44,298,598 | 80.8 | 30,229,897 | 68.2 | 15,441,200 | 51.1 |
| 投資 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 |
| 出資金 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 | 8,600,000 | 100.0 |
| 流動資産 | 1,723,542,899 | 105.8 | 1,708,594,498 | 99.1 | 1,721,491,469 | 100.8 | 1,729,153,116 | 100.4 | 1,695,298,975 | 98.0 |
| 現金・預金 | 1,520,352,484 | 106.6 | 1,496,869,390 | 98.5 | 1,566,801,997 | 104.7 | 1,564,812,757 | 99.9 | 1,548,629,967 | 99.0 |
| 未収金 | 148,852,313 | 78.0 | 182,976,956 | 122.9 | 144,377,740 | 78.9 | 154,136,217 | 106.8 | 136,430,836 | 88.5 |
| 貯蔵品 | 11,758,102 | 102.5 | 11,838,152 | 100.7 | 10,311,732 | 87.1 | 10,204,142 | 99.0 | 10,238,172 | 100.3 |
| 前払金 | 42,580,000 | 皆増 | 16,910,000 | 39.7 | 0 | 0.0 | 0 | — | 0 | — |
| 資産合計 | 10,193,002,456 | 100.2 | 10,409,448,166 | 102.1 | 10,362,935,002 | 99.6 | 10,457,258,405 | 100.9 | 10,344,565,757 | 98.9 |

◆ 貸借対照表の推移

負債及び資本の部(貸方)

| 区 分 | (単位:円) | | | | | | (単位:円) | | | |
|----------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|
| | 令和2年度 | 前年対比(%) | 令和3年度 | 前年対比(%) | 令和4年度 | 前年対比(%) | 令和5年度 | 前年対比(%) | 令和6年度 | 前年対比(%) |
| 固定負債 | 2,565,112,582 | 98.4 | 2,657,853,835 | 103.6 | 2,606,270,531 | 98.1 | 2,591,193,290 | 99.4 | 2,564,709,143 | 99.0 |
| 企業債 | 2,509,511,573 | 98.4 | 2,602,252,826 | 103.7 | 2,550,669,522 | 98.0 | 2,535,592,281 | 99.4 | 2,509,108,134 | 99.0 |
| 修繕引当金 | 55,601,009 | 100.0 | 55,601,009 | 100.0 | 55,601,009 | 100.0 | 55,601,009 | 100.0 | 55,601,009 | 100.0 |
| 流動負債 | 534,295,132 | 89.4 | 517,976,019 | 96.9 | 538,665,246 | 104.0 | 606,265,742 | 112.5 | 477,374,921 | 78.7 |
| 企業債 | 181,588,611 | 108.5 | 215,692,061 | 118.8 | 224,083,304 | 103.9 | 234,277,241 | 104.5 | 204,384,147 | 87.2 |
| 未払金 | 211,462,566 | 73.3 | 243,805,672 | 115.3 | 266,993,465 | 109.5 | 325,455,111 | 121.9 | 227,536,025 | 69.9 |
| 前受金 | 1,815,000 | 41.2 | 5,028,100 | 277.0 | 8,639,300 | 171.8 | 8,340,900 | 96.5 | 8,188,900 | 98.2 |
| 引当金 | 11,547,000 | 99.4 | 11,547,000 | 100.0 | 11,203,000 | 97.0 | 10,663,000 | 95.2 | 9,875,000 | 92.6 |
| 予納金 | 126,044,321 | 100.7 | 34,547,411 | 27.4 | 27,216,046 | 78.8 | 27,148,056 | 99.8 | 27,148,056 | 100.0 |
| その他流動負債 | 1,837,634 | 347.9 | 7,355,775 | 400.3 | 530,131 | 7.2 | 381,434 | 72.0 | 242,793 | 63.7 |
| 繰延収益 | 2,757,685,851 | 98.3 | 2,798,762,256 | 99.3 | 2,661,417,285 | 97.2 | 2,675,912,578 | 100.5 | 2,690,174,852 | 100.5 |
| 長期前受金 | 2,757,685,851 | 98.3 | 2,798,762,256 | 99.3 | 2,661,417,285 | 97.2 | 2,675,912,578 | 100.5 | 2,690,174,852 | 100.5 |
| 工事負担金 | 1,939,100,966 | 97.3 | 1,881,565,806 | 97.0 | 1,810,243,494 | 96.2 | 1,836,971,366 | 101.5 | 1,747,167,346 | 95.1 |
| 新規給水加入金 | 706,967,794 | 101.3 | 715,462,787 | 101.2 | 718,221,876 | 100.4 | 717,962,691 | 100.0 | 714,878,358 | 99.6 |
| 補助金 | 110,077,091 | 95.0 | 107,560,763 | 97.7 | 105,044,435 | 97.7 | 102,528,162 | 97.6 | 100,011,889 | 97.5 |
| 他会計補助金 | 1,540,000 | 皆増 | 34,172,900 | 2219.0 | 27,907,480 | 81.7 | 18,450,359 | 66.1 | 12,172,859 | 66.0 |
| 建設仮勘定 | | | | | | | | | 115,944,400 | 皆増 |
| 資本金 | 2,564,015,104 | 105.8 | 2,704,015,104 | 105.5 | 2,844,015,104 | 105.2 | 2,984,015,104 | 104.9 | 3,124,015,104 | 104.7 |
| 自己資本金 | 2,564,015,104 | 105.8 | 2,704,015,104 | 105.5 | 2,844,015,104 | 105.2 | 2,984,015,104 | 104.9 | 3,124,015,104 | 104.7 |
| 剰余金 | 1,771,893,787 | 101.9 | 1,790,840,952 | 101.1 | 1,712,566,836 | 95.6 | 1,599,871,691 | 93.4 | 1,488,291,737 | 93.0 |
| 資本剰余金 | 1,192,615,726 | 100.0 | 1,192,615,726 | 100.0 | 1,192,615,726 | 100.0 | 1,192,615,726 | 100.0 | 1,192,615,726 | 100.0 |
| 工事負担金 | 549,033,794 | 100.0 | 549,033,794 | 100.0 | 549,033,794 | 100.0 | 549,033,794 | 100.0 | 549,033,794 | 100.0 |
| 新規給水加入金 | 643,267,056 | 100.0 | 643,267,056 | 100.0 | 643,267,056 | 100.0 | 643,267,056 | 100.0 | 643,267,056 | 100.0 |
| その他資本剰余金 | 314,876 | 100.0 | 314,876 | 100.0 | 314,876 | 100.0 | 314,876 | 100.0 | 314,876 | 100.0 |
| 利益剰余金 | 579,278,061 | 106.2 | 598,225,226 | 103.3 | 519,951,110 | 86.9 | 407,255,965 | 78.3 | 295,676,011 | 72.6 |
| 建設改良積立金 | 405,636,723 | 118.9 | 439,278,061 | 108.3 | 458,225,226 | 104.3 | 379,951,110 | 82.9 | 267,255,965 | 70.3 |
| 未処分利益剰余金 | 173,641,338 | 85.0 | 158,947,165 | 91.5 | 61,725,884 | 38.8 | 27,304,855 | 44.2 | 28,420,046 | 104.1 |
| 負債資本合計 | 10,193,002,456 | 100.2 | 10,409,448,166 | 102.1 | 10,362,935,002 | 99.6 | 10,457,258,405 | 100.9 | 10,344,565,757 | 98.9 |

◆ 給水原価と供給単価

ア 給水原価（水1m³あたりの生産原価）

| 年度 区分 | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | |
|---------------------|------------|---------------------------|-------------------------------|------------|---------------------------|-------------------------------|------------|---------------------------|-------------------------------|------------|---------------------------|-------------------------------|------------|---------------------------|-------------------------------|
| | 金額 (千円) | 1m ³ 当り (円) | 1m ³ 当り前年 対比(%) | 金額 (千円) | 1m ³ 当り (円) | 1m ³ 当り前年 対比(%) | 金額 (千円) | 1m ³ 当り (円) | 1m ³ 当り前年 対比(%) | 金額 (千円) | 1m ³ 当り (円) | 1m ³ 当り前年 対比(%) | 金額 (千円) | 1m ³ 当り (円) | 1m ³ 当り前年 対比(%) |
| 人件費 | 103,135 | 18.58 | 99.0 | 95,671 | 17.29 | 93.1 | 98,241 | 17.97 | 103.9 | 102,541 | 18.95 | 105.5 | 99,094 | 18.43 | 97.3 |
| 動力費 | 60,087 | 10.82 | 109.2 | 62,654 | 11.32 | 104.6 | 68,840 | 12.59 | 111.2 | 50,558 | 9.34 | 74.2 | 55,781 | 10.37 | 111.0 |
| 修繕費 | 55,429 | 9.98 | 77.6 | 55,117 | 9.96 | 99.8 | 119,207 | 21.80 | 218.9 | 116,555 | 21.54 | 98.8 | 80,556 | 14.98 | 69.5 |
| 薬品費 | 16,806 | 3.02 | 115.3 | 15,878 | 2.87 | 95.0 | 14,662 | 2.68 | 93.4 | 16,219 | 3.00 | 111.9 | 14,621 | 2.72 | 90.7 |
| 支払利息 | 31,909 | 5.75 | 91.1 | 29,626 | 5.35 | 93.0 | 28,064 | 5.13 | 95.9 | 26,869 | 4.97 | 96.9 | 26,827 | 4.99 | 100.4 |
| 減価償却費 (資産減耗費を含む) | 173,925 | 31.33 | 102.8 | 175,582 | 31.74 | 101.3 | 191,013 | 34.94 | 110.1 | 194,454 | 35.94 | 102.9 | 200,756 | 37.33 | 103.9 |
| 受水費 | 334,104 | 60.18 | 90.4 | 341,902 | 61.80 | 102.7 | 337,081 | 61.65 | 99.8 | 346,859 | 64.11 | 104.0 | 353,415 | 65.73 | 102.5 |
| その他 | 131,806 | 23.74 | 95.4 | 132,776 | 24.00 | 101.1 | 136,877 | 25.03 | 104.3 | 170,571 | 31.52 | 125.9 | 180,241 | 33.52 | 106.3 |
| 合計 | 907,201 | 163.40 | 94.8 | 909,206 | 164.33 | 100.6 | 993,985 | 181.79 | 110.6 | 1,024,626 | 189.37 | 104.2 | 1,011,291 | 188.07 | 99.3 |

イ 供給単価（水1m³あたりの販売単価）

| 年度 区分 | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | |
|----------|--------------|------------------------------|---------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------|
| | 給水収益 (千円) | 年間総有収 水量(m ³) | 1m ³ 当り (円) | 給水収益 (千円) | 年間総有収 水量(m ³) | 1m ³ 当り (円) | 給水収益 (千円) | 年間総有収 水量(m ³) | 1m ³ 当り (円) | 給水収益 (千円) | 年間総有収 水量(m ³) | 1m ³ 当り (円) | 給水収益 (千円) | 年間総有収 水量(m ³) | 1m ³ 当り (円) |
| 供給単価 | 1,028,245 | 5,551,406 | 185.22 | 956,201 | 5,532,649 | 172.83 | 952,443 | 5,467,661 | 174.20 | 888,290 | 5,410,738 | 164.17 | 941,423 | 5,377,174 | 175.08 |

◆ 経営分析

ア 業務比率

| 項目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和5年度 類似団体平均 | 算式 | 備考 |
|------------------|---------------|---------|---------|---------|---------|-----------------|--|--|
| 負荷率 (%) | 88.8 | 92.3 | 89.5 | 91.5 | 91.6 | 88.1 | $\frac{\text{1日平均給水量}}{\text{1日最大給水量}} \times 100$ | 施設の利用度を把握する。 100%に近いほど良い。 |
| 施設利用率 (%) | 48.1 | 48.3 | 47.7 | 47.2 | 47.5 | 57.9 | $\frac{\text{1日平均給水量}}{\text{1日給水能力}} \times 100$ | 負荷率×最大稼働率。1日平均配水能力に 対する配水量の割合を示すもので、原則とし て100%に近いほど良い。 |
| 最大稼働率 (%) | 54.2 | 52.4 | 53.3 | 51.6 | 51.9 | 65.7 | $\frac{\text{1日最大給水量}}{\text{1日給水能力}} \times 100$ | 施設の利用の適切性をみる。高いほどよい が、あまり100%に近づいても良くない。 |
| 有収率 (%) | 93.6 | 93.1 | 93.2 | 93.0 | 92.0 | 87.5 | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$ | 総配水量のうち、料金として徴収されている水 量の割合。高いほど良い。 |
| 配水管使用効率 (m³/m) | 35.2 | 35.1 | 34.6 | 34.1 | 34.3 | 20.7 | $\frac{\text{年間総給水量}}{\text{導送配水管延長}}$ | 導、送、配水管1m当たりの配水量をみて、そ の効果を測るもの。数値が大きいほど使用効 率が良い。 |
| 固定資産使用効率 (m³/万円) | 7.0 | 6.8 | 6.8 | 6.7 | 6.8 | 6.7 | $\frac{\text{年間総給水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$ | 有形固定資産1万円当たりの配水量をみて、 その効果を測るもの。数値が大きいほど良 い。 |
| 供給単価 (円/m³) | 185.22 | 172.83 | 174.20 | 164.17 | 175.08 | 138.57 | $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$ | 1m³当たりの販売単価 |
| 給水原価 (円/m³) | 163.42 | 164.33 | 181.79 | 189.37 | 188.07 | 139.99 | $\frac{\text{経常費用-(受託工事費+附帯事業費+材料売却原価)-長期前受金戻入益}}{\text{年間総有収水量}}$ | 1m³当たりの生産原価 平成27年度より算式変更。 |
| 料金回収率 (%) | 113.3 | 105.2 | 95.8 | 86.7 | 93.1 | 99.0 | $\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$ | |
| 職員一人当たり | 給水量 (m³/人) | 427,031 | 540,307 | 488,952 | 484,814 | 584,798 | $\frac{\text{年間総給水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 職員1人当たりの指数であり、数値が大きい ほど良い。 |
| | 有収水量 (m³/人) | 456,263 | 502,968 | 455,638 | 450,895 | 537,717 | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | |
| | 給水人口 (人) | 4,405 | 5,161 | 4,722 | 4,702 | 5,604 | $\frac{\text{年度末給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | |
| | 営業収益 (千円/人) | 84,974 | 93,247 | 84,149 | 78,831 | 99,904 | $\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | |
| | 有形固定資産 (千円/人) | 648,485 | 785,208 | 715,701 | 724,095 | 862,509 | $\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | |

※ 類似団体平均 令和5年度地方公営企業決算状況調査を基礎とし、全国末端給水事業1,243事業のデータを集計し作成された指標を、給水人口規模、水源による分類により、類型化した類似団体の平均値である。

イ 財務比率

| 項目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和5年度 類似団体平均 | 算式 | 備考 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------|--|--|
| 固定資産構成比率 (%) | 83.1 | 83.6 | 83.4 | 83.5 | 83.6 | 87.2 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$ | 比率が小さいほど良いが、公営企業は施設事業でもあり、一般的に大きいのが特徴。 |
| 固定負債構成比率 (%) | 25.2 | 25.5 | 25.1 | 24.8 | 24.8 | 20.7 | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$ | 小さいほど良い。 |
| 自己資本構成比率 (%) | 69.6 | 69.5 | 69.7 | 69.4 | 70.6 | 75.6 | $\frac{\text{自己資本}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$ | 50%以上が望ましい。 |
| 固定比率 (%) | 119.4 | 120.3 | 119.7 | 120.2 | 118.4 | 115.4 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$ | 自己資金で固定資産をどの程度まかなっているかをみる。低いほど良い。 |
| 固定資産対長期資本比率 (%) | 87.7 | 88.0 | 88.0 | 88.6 | 87.7 | 90.6 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$ | 長期適合率 100%以下が望ましい。 |
| 流動比率 (%) | 322.6 | 330.0 | 319.6 | 285.2 | 355.1 | 341.9 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 短期負債に対して応ずべき流動資産が十分にあるかどうかの支払能力を示している。 |
| 当座比率 (酸性試験比率) (%) | 312.4 | 324.3 | 317.7 | 283.5 | 353.0 | 321.5 | $\frac{\text{現金} \cdot \text{預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ | 当座預金(現金、預金、未収金)と流動負債の対比で支払能力をみる。 |
| 現金・預金比率 (%) | 284.6 | 289.0 | 290.9 | 258.1 | 324.4 | — | $\frac{\text{現金} \cdot \text{預金}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 即時支払能力をみる。 |
| 企業債残高対給水収益 (%) | 261.7 | 294.7 | 291.3 | 311.8 | 288.2 | — | $\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 給水収益に対して企業債残高の割合であり、企業債残高の規模をあらわしている。低いほど良い。 |
| 一人あたり企業債残高 (円) | 46,998 | 49,633 | 48,970 | 49,087 | 48,420 | — | $\frac{\text{企業債残高}}{\text{年度末給水人口}}$ | 1人当たりの企業債残高の割合である。低いほど良い。 |

ウ 資産資本の回転率

| 項目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和5年度 類似団体平均 | 算式 | 備考 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|--|--|
| 自己資本回転率 (回) | 0.31 | 0.14 | 0.14 | 0.13 | 0.13 | 0.10 | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \times 1/2}$ | 自己資本金の利用度をみる。 数値が高いほど良い。 |
| 固定資産回転率 (回) | 0.13 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.08 | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$ | 固定資産の利用度を表す。 数値が高いほど良い。 |
| 減価償却率 (%) | 3.71 | 3.67 | 3.94 | 3.99 | 4.06 | 4.14 | $\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$ | 固定資産に投下された資本の回収状況を表す。 |
| 流動資産回転率 (回) | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.5 | 0.6 | 0.6 | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \times 1/2}$ | 流動資産の利用度を表す。 |
| 未収金回転率 (回) | 6.2 | 5.9 | 6.0 | 6.1 | 6.5 | 7.1 | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \times 1/2}$ | 未収金の回収の程度を表す。 数値が大きいほど、未収金の回収速度が良好。 |

エ 損益に関する比率

| 項目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和5年度 類似団体平均 | 算式 | 備考 | |
|----------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|--|--|--|
| 総資本利益率 (%) | 1.72 | 1.57 | 0.61 | 0.29 | 0.28 | 0.74 | $\frac{\text{当年度経常利益}(\Delta\text{経常損失})}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\times 1/2} \times 100$ | 総資本に対する利益の割合を表す。 数値が大きいにほど良い。 | |
| 総収益対総費用比率 (総収支比率) (%) | 116.4 | 115.0 | 105.4 | 102.3 | 102.4 | 109.1 | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ | 収益と費用の相対的な関連性を表す。 | |
| 営業収支比率 (%) | 107.7 | 98.7 | 90.3 | 81.8 | 86.8 | 93.9 | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}} \times 100$ | 業務活動の能率を表す。 | |
| 利子負担率 (%) | 1.2 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.2 | $\frac{\text{支払利息}}{\text{企業債}+\text{長期借入金}+\text{一時借入金}} \times 100$ | 資金調達のための負債に対する利子費用の 利率の高低をみる。 | |
| 経常収支比率 (%) | 116.5 | 115.3 | 105.6 | 102.5 | 102.5 | 109.2 | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$ | 経常的な収益と費用の関連をみる。 | |
| 企業債償還元金対 減価償却費比率 (%) | 57.5 | 59.3 | 68.7 | 70.5 | 72.1 | 64.2 | $\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$ | 企業債元金が、その補てん財源である減価 償却費に占める割合を表す。低いほど良い。 | |
| 料金収入に 対する 比率 | 企業債償還元金 (%) | 16.3 | 19.5 | 22.7 | 25.2 | 24.9 | 21.6 | $\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 企業債発行額が、事業規模に対し適正かどう かを判断する基準で、低いほど良い。 |
| | 企業債利息 (%) | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.9 | $\frac{\text{企業債支払利息}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 上に同じ |
| | 企業債元利償還金 (%) | 19.4 | 22.6 | 25.6 | 28.3 | 27.7 | 25.5 | $\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}+\text{企業債支払利息}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 上に同じ |
| | 職員給与費 (%) | 10.0 | 10.0 | 10.3 | 11.5 | 10.5 | 10.4 | $\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 職員給与費は、受託工事費を含まず、児童 手当及び子ども手当並びに退職手当組合負 担金を除く。 |

オ 管路に関する比率

| 項目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和4年度 京都市内平均 | 算式 | 備考 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|---|--|
| 管路経年化率 (%) | 18.00 | 19.23 | 20.52 | 21.56 | 27.80 | 28.90 | $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$ | 法定耐用年数を越えた管路延長の割合を表 す指標で、管路の老朽化度合いを示してい る。 |
| 管路更新率 (%) | 0.72 | 1.05 | 0.43 | 1.42 | 0.00 | 0.83 | $\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$ | 当該年度に更新した管路延長の割合を表す 指標で、管路の更新ベースを把握できる。 |
| 基幹管路耐震適合率 (%) | 27.0 | 28.3 | 28.3 | 32.8 | 32.8 | 41.1 | $\frac{\text{耐震適合性のある基幹管路の延長}}{\text{基幹管路の総延長}} \times 100$ | 耐震適合性のある基幹管路の割合を表して いる。 |

※ 各算式において用いた用語の内容は次のとおりである。

経常費用 = 事業費用 - 特別損失 = 営業費用 + 営業外費用

経常収益 = 事業収益 - 特別利益 = 営業収益 + 営業外収益

減価償却資産 = 有形固定資産 + 無形固定資産 - 土地 - 建設仮勘定 - 電話加入権

自己資本 = 自己資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益

総資本 = 負債 + 資本 = 資産

基幹管路 = 導水管、送水管、配水本管(口径250mm以上)

(2) 水道料金等

◆ 受付件数

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 開 栓 | 1,305 | 1,376 | 1,385 | 1,429 | 1,265 |
| 閉 栓 | 1,041 | 975 | 976 | 1,144 | 908 |

◆ 口径別水道使用水量及び料金

(使用量: m³ ・ 料金: 千円)

| 区 分 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| φ13 | 件 数 | 4,907 | 4,769 | 4,485 | 4,380 | 4,474 |
| | 使 用 量 | 809,040 | 773,669 | 737,267 | 707,636 | 681,029 |
| | 料 金 | 145,619 | 128,402 | 122,858 | 109,237 | 114,150 |
| φ20 | 件 数 | 13,343 | 13,514 | 13,468 | 13,533 | 13,880 |
| | 使 用 量 | 2,908,277 | 2,902,492 | 2,872,865 | 2,849,342 | 2,845,511 |
| | 料 金 | 538,084 | 492,193 | 487,093 | 450,372 | 483,775 |
| φ25 | 件 数 | 861 | 863 | 859 | 853 | 877 |
| | 使 用 量 | 342,826 | 328,293 | 323,886 | 328,325 | 329,329 |
| | 料 金 | 91,298 | 83,130 | 82,016 | 79,013 | 83,392 |
| φ40 | 件 数 | 109 | 109 | 112 | 112 | 115 |
| | 使 用 量 | 222,630 | 237,615 | 248,304 | 251,182 | 233,296 |
| | 料 金 | 80,329 | 85,075 | 89,396 | 88,604 | 84,301 |
| φ50 | 件 数 | 29 | 30 | 29 | 28 | 30 |
| | 使 用 量 | 60,022 | 62,062 | 76,255 | 85,997 | 92,081 |
| | 料 金 | 26,723 | 26,761 | 32,598 | 35,030 | 38,610 |
| φ75 | 件 数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| | 使 用 量 | 91,522 | 91,232 | 95,970 | 98,873 | 99,862 |
| | 料 金 | 39,725 | 39,456 | 41,174 | 41,512 | 42,719 |
| φ100 | 件 数 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | 使 用 量 | 79,568 | 77,036 | 71,367 | 60,370 | 58,614 |
| | 料 金 | 34,878 | 33,864 | 32,247 | 27,612 | 27,040 |
| φ125 | 件 数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 使 用 量 | 7,952 | 10,731 | 8,839 | 9,216 | 10,237 |
| | 料 金 | 4,203 | 5,377 | 4,658 | 4,794 | 5,189 |
| 集合住宅 | 件 数 | 278 | 283 | 286 | 289 | 291 |
| | 使 用 量 | 1,029,569 | 1,049,519 | 1,032,908 | 1,019,797 | 1,027,215 |
| | 料 金 | 170,191 | 157,535 | 155,623 | 140,921 | 156,366 |
| 合計 | 件 数 | 19,551 | 19,592 | 19,263 | 19,219 | 19,691 |
| | 使 用 量 | 5,551,406 | 5,532,649 | 5,467,661 | 5,410,738 | 5,377,174 |
| | 料 金 | 1,131,050 | 1,051,793 | 1,047,663 | 977,095 | 1,035,542 |

◆ 業態別水道使用水量及び料金

(使用量: m³ ・ 料金: 千円)

| 区 分 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 家事用 | 件数 | 18,558 | 18,577 | 18,274 | 18,220 | 18,667 |
| | 使用量 | 3,962,154 | 3,887,351 | 3,820,130 | 3,766,442 | 3,737,873 |
| | 料金 | 761,175 | 682,846 | 672,698 | 618,111 | 660,515 |
| 集合住宅 | 件数 | 278 | 283 | 286 | 289 | 291 |
| | 使用量 | 1,029,422 | 1,049,522 | 1,032,908 | 1,020,027 | 1,027,215 |
| | 料金 | 170,165 | 157,560 | 155,623 | 140,985 | 156,366 |
| 営業用 | 件数 | 562 | 569 | 535 | 541 | 560 |
| | 使用量 | 338,749 | 363,702 | 383,618 | 396,464 | 385,243 |
| | 料金 | 110,953 | 117,581 | 125,065 | 125,857 | 125,780 |
| 官公署 | 件数 | 46 | 46 | 50 | 51 | 52 |
| | 使用量 | 55,856 | 72,098 | 66,127 | 57,292 | 52,505 |
| | 料金 | 24,465 | 31,619 | 29,753 | 26,637 | 24,778 |
| 公園 | 件数 | 48 | 57 | 59 | 59 | 59 |
| | 使用量 | 1,683 | 1,249 | 1,530 | 1,521 | 1,280 |
| | 料金 | 955 | 967 | 1,030 | 1,060 | 1,027 |
| 学校 | 件数 | 21 | 22 | 22 | 22 | 23 |
| | 使用量 | 98,198 | 93,322 | 98,063 | 102,184 | 107,839 |
| | 料金 | 43,048 | 41,334 | 43,224 | 44,550 | 46,902 |
| 病院 | 件数 | 20 | 20 | 19 | 19 | 20 |
| | 使用量 | 24,034 | 24,590 | 24,790 | 25,286 | 22,912 |
| | 料金 | 8,325 | 8,289 | 8,486 | 8,293 | 7,726 |
| 公衆浴場 | 件数 | X | X | X | X | X |
| | 使用量 | 11,561 | 11,191 | 10,130 | 10,085 | 9,873 |
| | 料金 | 1,284 | 1,229 | 1,124 | 1,095 | 1,098 |
| 工場用 | 件数 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 |
| | 使用量 | 29,749 | 29,624 | 30,365 | 31,437 | 32,434 |
| | 料金 | 10,680 | 10,368 | 10,660 | 10,507 | 11,350 |
| 合計 | 件数 | 19,551 | 19,592 | 19,263 | 19,219 | 19,691 |
| | 使用量 | 5,551,406 | 5,532,649 | 5,467,661 | 5,410,738 | 5,377,174 |
| | 料金 | 1,131,050 | 1,051,793 | 1,047,663 | 977,095 | 1,035,542 |

◆ 水道料金収納体系別状況

| 区分 | | 年度 | | | | |
|----------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 集金 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 比率(%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 窓口 | 件数 | 5,781 | 6,192 | 4,691 | 4,467 | 4,263 |
| | 比率(%) | 4.9 | 5.3 | 4.0 | 3.8 | 3.6 |
| コンビニ | 件数 | 17,361 | 16,248 | 15,725 | 15,112 | 15,566 |
| | 比率(%) | 14.8 | 13.7 | 13.3 | 12.8 | 13.1 |
| 口座振替 | 件数 | 94,449 | 94,264 | 91,307 | 89,086 | 87,026 |
| | 比率(%) | 80.3 | 79.6 | 77.6 | 75.4 | 73.1 |
| スマートフォン | 件数 | - | 1,334 | 2,020 | 2,456 | 2,727 |
| | 比率(%) | - | 1.1 | 1.7 | 2.1 | 2.3 |
| クレジットカード | 件数 | - | 389 | 3,959 | 7,005 | 9,462 |
| | 比率(%) | - | 0.3 | 3.4 | 5.9 | 7.9 |
| ネットバンキング | 件数 | - | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 比率(%) | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | 件数 | 117,591 | 118,428 | 117,702 | 118,126 | 119,044 |
| | 比率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

◆ 使用水量区分別件数

| 区分 | | 年度 | | | | | | | | | |
|------|----------------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | |
| | | 件数 | 比率(%) | 件数 | 比率(%) | 件数 | 比率(%) | 件数 | 比率(%) | 件数 | 比率(%) |
| 1～ | 10m ³ | 16,257 | 13.9 | 16,114 | 13.8 | 16,569 | 14.1 | 16,404 | 14.1 | 17,338 | 14.8 |
| 11～ | 20m ³ | 16,089 | 13.8 | 16,517 | 14.2 | 17,209 | 14.7 | 17,561 | 15.1 | 17,778 | 15.2 |
| 21～ | 60m ³ | 69,375 | 59.4 | 69,555 | 59.6 | 69,483 | 59.4 | 69,235 | 59.5 | 69,108 | 59.0 |
| 61～ | 100m ³ | 11,644 | 10.0 | 11,144 | 9.5 | 10,434 | 8.9 | 9,821 | 8.4 | 9,503 | 8.1 |
| 101～ | 200m ³ | 1,663 | 1.4 | 1,532 | 1.3 | 1,505 | 1.3 | 1,582 | 1.3 | 1,513 | 1.3 |
| | 201m ³ 以上 | 1,842 | 1.5 | 1,857 | 1.6 | 1,859 | 1.6 | 1,818 | 1.6 | 1,872 | 1.6 |
| | 計 | 116,870 | 100.0 | 116,719 | 100.0 | 117,059 | 100.0 | 116,421 | 100.0 | 117,112 | 100.0 |

※ 検針は2か月ごとに年6回実施する。

◆ 水道料金の変せん

| 町営料金を制定施行(給水区域は西向日) | | | |
|---------------------|---------------------------|-------------|-----------------------------|
| 適用年月日 | 昭和26年9月13日制定 | | |
| 種別 | 基本水量 (m ³) | 基本料金 (円) | 超過料金 1m ³ につき |
| 専 用 家 事 用 水 | 8 | 96 | 17 |
| 私 設 共 用 家 事 用 水 | 6 | 60 | 15 |
| 営 業 用 及 び 特 別 用 水 | 300 | 3,370 | 17 |

◎ 量水器使用料(1か月につき)

| 口径(mm) | メーター使用料 (円) |
|--------|-------------|
| 13 | 15 |
| 20 | 25 |
| 25 | 25 |

| 適用年月日 | 昭和28年4月1日改定 平均改定率30% | | |
|-------------------|---------------------------|-------------|-----------------------------|
| 種別 | 基本水量 (m ³) | 基本料金 (円) | 超過料金 1m ³ につき |
| 専 用 家 事 用 水 | 8 | 125 | 22 |
| 私 設 共 用 家 事 用 水 | 6 | 80 | 20 |
| 営 業 用 及 び 特 別 用 水 | 100 | 2,000 | 35 |

| 口径(mm) | メーター使用料 (円) |
|--------|-------------|
| 13 | 20 |
| 20 | 35 |
| 25 | 50 |
| 40 | 75 |
| 50 | 150 |
| 65 | 250 |
| 75 | 300 |
| 100 | 400 |

| 適用年月日 | | 第 1 水 道 | | |
|----------------------------------|-----|---------------------------|-------------|-----------------------------|
| | | 昭和29年4月1日改定 | | |
| 種別 | | 基本水量 (m ³) | 基本料金 (円) | 超過料金 1m ³ につき |
| 第 1 種 | 専 用 | 8 | 125 | 22 |
| | 共 用 | 6 | 80 | 20 |
| 第 2 種 営 業 用 水 | | 100 | 2,000 | 35 |
| 第 5 種 工 場 用 水 及 び 臨 時 工 事 用 水 | | 100 | 2,000 | 35 |

| 口径(mm) | メーター使用料 (円) |
|--------|-------------|
| 13 | 20 |
| 20 | 35 |
| 25 | 50 |
| 40 | 75 |
| 50 | 150 |
| 65 | 250 |
| 75 | 300 |
| 100 | 400 |

| 適用年月日 | | 第 2 水 道 | | |
|----------------------------------|-----|---------------------------|-------------|-----------------------------|
| | | 昭和29年4月1日施行 | | |
| 種別 | | 基本水量 (m ³) | 基本料金 (円) | 超過料金 1m ³ につき |
| 第 1 種 | 専 用 | 8 | 210 | 35 |
| | 共 用 | 6 | 160 | 30 |
| 第 2 種 営 業 用 水 | | 10 | 300 | 40 |
| 第 3 種 特 別 用 水 | | 20 | 530 | 35 |
| 第 4 種 浴 場 用 水 | | 100 | 2,600 | 30 |
| 第 5 種 工 場 用 水 及 び 臨 時 工 事 用 水 | | 100 | 3,000 | 40 |
| 第 6 種 庭 園 用 水 | | 10 | 400 | 50 |

| 口径(mm) | メーター使用料 (円) |
|--------|-------------|
| 13 | 50 |
| 16 | 65 |
| 20 | 80 |
| 25 | 100 |
| 30 | 150 |
| 40 | 200 |
| 50 | 450 |
| 75 | 670 |
| 100 | 800 |

給水区域を西向日地域以外に拡大し、西向日地域を第1水道、その他を第2水道とした。

◎ 第2水道量水器使用料は据え置き。(1か月につき)

| 適用年月日 | | 第2水道 | | | 口径(mm) | メーター使用料(円) |
|------------------|----|-----------------------|---------|-------------------------|--------|------------|
| | | 昭和35年4月1日改定 | | | | |
| 種別 | | 基本水量(m ³) | 基本料金(円) | 超過料金1m ³ につき | | |
| 第1種 | 専用 | 8 | 190 | 35 | 13 | 50 |
| | 共用 | 6 | 160 | 30 | 16 | 65 |
| 第2種 営業用水 | | 10 | 300 | 40 | 20 | 80 |
| 第3種 特別用水 | | 20 | 530 | 35 | 25 | 100 |
| 第4種 浴場用水 | | 100 | 2,600 | 30 | 30 | 150 |
| 第5種 工場用水及び臨時工事用水 | | 100 | 3,000 | 40 | 40 | 200 |
| 第6種 庭園用水 | | 10 | 400 | 50 | 50 | 450 |
| | | | | | 75 | 670 |
| | | | | | 100 | 800 |

第2水道のみ家事専用基本料金(8m³) 210円を190円に値下げ(1か月につき) 平均改定率 △5.4%

| 適用年月日 | 昭和43年4月1日 |
|----------------------------------|-----------|
| 隔月検針とし、集金についても2か月分を隔月に徴収する体制とする。 | |

◎ 第1水道・第2水道メーター使用料も統一される。

| 適用年月日 | | 第1・2水道の料金統一(1か月につき) | | | 口径(mm) | メーター使用料(円) |
|------------------|----|---------------------------------|---------|-------------------------|--------|------------|
| | | 昭和43年8月1日改定 平均改定率57%(第1水道のみ) | | | | |
| 種別 | | 基本水量(m ³) | 基本料金(円) | 超過料金1m ³ につき | | |
| 第1種 | 専用 | 8 | 190 | 35 | 13 | 30 |
| | 共用 | 6 | 160 | 30 | 20 | 60 |
| 第2種 営業用水 | | 10 | 300 | 40 | 25 | 80 |
| 第3種 特別用水 | | 20 | 530 | 35 | 40 | 200 |
| 第4種 浴場用水 | | 100 | 2,600 | 30 | 50 | 450 |
| 第5種 工場用水及び臨時工事用水 | | 100 | 3,000 | 40 | 75 | 670 |
| 第6種 庭園用水 | | 10 | 400 | 50 | 100 | 800 |

| 適用年月日 | | | 昭和49年12月1日改定（1か月につき） 平均改定率62% | | |
|---------------------|-------------|-----------|--------------------------------------|--------------|--------------|
| 基本料金 | | | 超過料金 | | |
| 口径 (mm) | 基本水量 (㎡) | 金額 (円) | 30㎡まで | 100㎡まで | 101㎡以上 |
| 13 | 8 | 250 | 1㎡につき 50円 (公衆浴場用に限り 55円) | 1㎡につき 70円 | 1㎡につき 85円 |
| | 10 | 300 | | | |
| 20 | 8 | 350 | | | |
| | 10 | 400 | | | |
| 25 | 15 | 1,000 | | | |
| 40 | 40 | 4,000 | | | |
| 50 | 100 | 10,000 | | | |
| 75 | 150 | 20,000 | | | |
| 100 | 200 | 30,000 | | | |
| メーター使用料廃止 口径別料金制の移行 | | | | | |

| 適用年月日 | | | 昭和55年4月1日改定（1か月につき） 平均改定率75.46% | | | |
|------------|-------------|-----------|--------------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 基本料金 | | | 超過料金 | | | |
| 口径 (mm) | 基本水量 (㎡) | 金額 (円) | 30㎡まで | 50㎡まで | 100㎡まで | 101㎡以上 |
| 13 | 8 | 350 | 1㎡につき 80円 (公衆浴場用に限り 80円) | 1㎡につき 130円 | 1㎡につき 150円 | 1㎡につき 170円 |
| | 10 | 500 | | | | |
| 20 | 8 | 500 | | | | |
| | 10 | 700 | | | | |
| 25 | 15 | 1,800 | | | | |
| 40 | 40 | 7,400 | | | | |
| 50 | 100 | 19,000 | | | | |
| 75 | 150 | 38,000 | | | | |
| 100 | 200 | 57,000 | | | | |

| 適用年月日 | | 昭和59年4月1日改定（1か月につき） 平均改定率51.2% | | | | |
|------------|-----------|--------------------------------------|----------------|-----------------|------------------|----------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 8㎡以下 | 8㎡を超え 30㎡以下 | 30㎡を超え 50㎡以下 | 50㎡を超え 100㎡以下 | 100㎡を 超えるとき |
| 13 | 310 | 1㎡につき 25円 (公衆浴場用に限り 80円) | 1㎡につき 120円 | 1㎡につき 200円 | 1㎡につき 230円 | 1㎡につき 260円 |
| 20 | 640 | | | | | |
| 25 | 1,800 | | | | | |
| 40 | 7,400 | | | | | |
| 50 | 19,000 | | | | | |
| 75 | 38,000 | | | | | |
| 100以上 | 57,000 | | | | | |

| 適用年月日 | | 昭和60年4月1日改定（1か月につき） 平均改定率8.7% | | | | |
|------------|-----------|-------------------------------|--|---|--|------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 8m ³ 以下 | 8m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 100m ³ 以下 | 100m ³ を 超えるとき |
| 13 | 310 | 1m ³ につき 30円 | 1m ³ につき 135円 | 1m ³ につき 210円 | 1m ³ につき 250円 | 1m ³ につき 280円 |
| 20 | 640 | | | | | |
| 25 | 1,800 | | | | | |
| 40 | 7,400 | | | | | |
| 50 | 19,000 | | | | | |
| 75 | 38,000 | | | | | |
| 100以上 | 57,000 | | | | | |
| 集合住宅 | 310円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数 | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき80円を乗じた額 | | | | |

| 適用年月日 | | 平成8年10月1日検針分から改定（1か月につき） 平均改定率16.8% | | | | | |
|-----------------------------------|-----------|-------------------------------------|--|---|---|--|------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 5m ³ 以下 | 5m ³ を超え 10m ³ 以下 | 10m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 100m ³ 以下 | 100m ³ を 超えるとき |
| 13 | 610 | 1m ³ につき 60円 | 1m ³ につき 85円 | 1m ³ につき 130円 | 1m ³ につき 205円 | 1m ³ につき 245円 | 1m ³ につき 280円 |
| 20 | 1,000 | | | | | | |
| 25 | 2,000 | | | | | | |
| 40 | 8,200 | | | | | | |
| 50 | 20,000 | | | | | | |
| 75 | 40,000 | | | | | | |
| 100以上 | 60,000 | | | | | | |
| 集合住宅 | 610円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数 | | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき80円を乗じた額 | | | | | |
| 基本料金と従量料金を合算した額に100分の103を乗じた額とする。 | | | | | | | |

| 適用年月日 | 平成10年4月1日 |
|-----------------------------------|-----------|
| 基本料金と従量料金を合算した額に100分の105を乗じた額とする。 | |

| 適用年月日 | | 平成14年6月1日検針分から改定（1か月につき） 平均改定率24.95% | | | | | |
|------------|-----------|--------------------------------------|--|---|---|--|------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 5m ³ 以下 | 5m ³ を超え 10m ³ 以下 | 10m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 100m ³ 以下 | 100m ³ を 超えるとき |
| 13 | 950 | 1m ³ につき 70円 | 1m ³ につき 100円 | 1m ³ につき 175円 | 1m ³ につき 240円 | 1m ³ につき 260円 | 1m ³ につき 290円 |
| 20 | 1,400 | | | | | | |
| 25 | 2,400 | | | | | | |
| 40 | 8,600 | | | | | | |
| 50 | 21,000 | | | | | | |
| 75 | 42,000 | | | | | | |
| 100以上 | 62,000 | | | | | | |
| 集合住宅 | 1,400円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数 | | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき90円を乗じた額 | | | | | |

（集合住宅は、平成14年4月1日以降に取扱いの申込みがあったものから）

| 適用年月日 | | 平成23年6月1日検針分から改定（1か月につき） 平均改定率△3.6% | | | | | |
|------------|-----------|-------------------------------------|--|---|---|--|------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 5m ³ 以下 | 5m ³ を超え 10m ³ 以下 | 10m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 100m ³ 以下 | 100m ³ を 超えるとき |
| 13 | 950 | 1m ³ につき 65円 | 1m ³ につき 90円 | 1m ³ につき 165円 | 1m ³ につき 240円 | 1m ³ につき 260円 | 1m ³ につき 290円 |
| 20 | 1,400 | | | | | | |
| 25 | 2,400 | | | | | | |
| 40 | 8,600 | | | | | | |
| 50 | 21,000 | | | | | | |
| 75 | 42,000 | | | | | | |
| 100以上 | 62,000 | | | | | | |
| 集合住宅 | 1,400円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数 | | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき90円を乗じた額 | | | | | |

（集合住宅は、平成14年4月1日以降に取扱いの申込みがあったものから）

| 適用年月日 | 平成26年4月1日 |
|-----------------------------------|-----------|
| 基本料金と従量料金を合算した額に100分の108を乗じた額とする。 | |

| 適用年月日 | | 平成27年6月1日検針分から改定（1か月につき） 平均改定率△5.7% | | | | | |
|------------|-----------|-------------------------------------|--|---|---|--|------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 5m ³ 以下 | 5m ³ を超え 10m ³ 以下 | 10m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 100m ³ 以下 | 100m ³ を 超えるとき |
| 13 | 900 | 1m ³ につき 60円 | 1m ³ につき 80円 | 1m ³ につき 150円 | 1m ³ につき 240円 | 1m ³ につき 260円 | 1m ³ につき 290円 |
| 20 | 1,330 | | | | | | |
| 25 | 2,400 | | | | | | |
| 40 | 8,600 | | | | | | |
| 50 | 21,000 | | | | | | |
| 75 | 42,000 | | | | | | |
| 100以上 | 62,000 | | | | | | |
| 集合住宅 | 1,330円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数 | | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき90円を乗じた額 | | | | | |

(集合住宅は、平成14年4月1日以降に取扱いの申込みがあったものから)

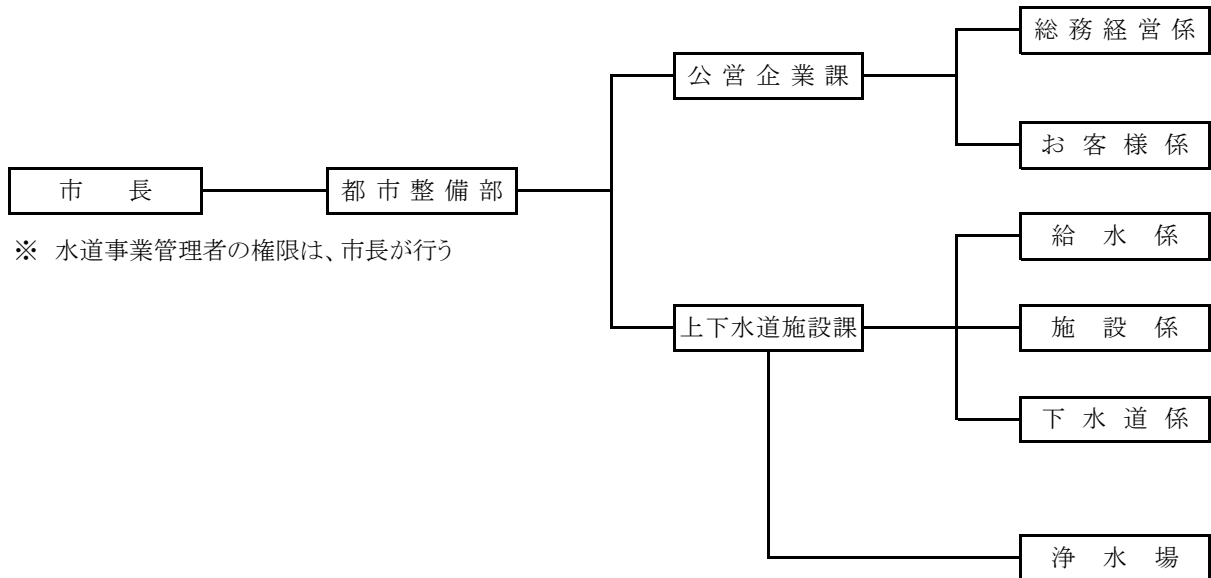
| 適用年月日 | 令和元年10月1日 |
|-----------------------------------|-----------|
| 基本料金と従量料金を合算した額に100分の110を乗じた額とする。 | |

| 適用年月日 | | 令和2年6月1日検針分から改定（1か月につき） 平均改定率△6.1% | | | | | | | | | |
|------------|-----------|------------------------------------|--|---|---|---|--|---|---|---|---------------------------------|
| 基本料金 | | 従量料金 | | | | | | | | | |
| 口径 (mm) | 金額 (円) | 5m ³ 以下 | 5m ³ を超え 10m ³ 以下 | 10m ³ を超え 20m ³ 以下 | 20m ³ を超え 30m ³ 以下 | 30m ³ を超え 50m ³ 以下 | 50m ³ を超え 500m ³ 以下 | 500m ³ を超え 1,250m ³ 以下 | 1,250m ³ を超え 2,500m ³ 以下 | 2,500m ³ を超え 5,000m ³ 以下 | 5,000m ³ を超え えるとき |
| 13 | 900 | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき | 1m ³ につき |
| 20 | 1,120 | 55円 | 60円 | 112円 | 190円 | 245円 | 280円 | 320円 | 330円 | 350円 | 340円 |
| 25 | 2,400 | | | | | | | | | | |
| 40 | 11,000 | 1m ³ につき 60円 | 1m ³ につき 70円 | 1m ³ につき 125円 | 1m ³ につき 225円 | 1m ³ につき 260円 | 1m ³ につき 300円 | 1m ³ につき 350円 | 1m ³ につき 360円 | 1m ³ につき 390円 | 1m ³ につき 370円 |
| 50 | 25,000 | | | | | | | | | | |
| 75 | 50,000 | | | | | | | | | | |
| 100 | 75,000 | | | | | | | | | | |
| 125以上 | 125,000 | | | | | | | | | | |
| 集合住宅 | 1,120円×戸数 | それぞれの水量区分×戸数(口径25mm以下の料金体系に基づく) | | | | | | | | | |
| 公衆浴場 | 口径別基本料金 | 1m ³ につき90円を乗じた額 | | | | | | | | | |

(集合住宅は、平成14年4月1日以降に取扱いの申込みがあったものから)

5 組織

(1) 機構図 (令和7年3月31日現在)



(2) 職員構成 (令和7年3月31日現在)

◆ 所属別職員構成

| | 職 員 (人) | | | | | | | | | | | | | 性 別 (人) | | |
|---------|---------|-------------|------------------|--------|--------|------------------|--------|-------------|------------------|--------|------------------|--------|--------|---------|---|----|
| | 部 長 | 副 部 長 | 主 席 課 長 | 課 長 | 主 幹 | 主 席 係 長 | 係 長 | 副 係 長 | 総 括 主 任 | 主 任 | 技 術 主 査 | 主 査 | 合 計 | 男 | 女 | 計 |
| 都市整備部 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | 3 |
| 公営企業課 | | | | (1) | | | 1 | 1 | | 1 | | | 3 | | 3 | 3 |
| 総務経営係 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 | | 2 | 2 |
| お客様係 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| 上下水道施設課 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 3 | 3 | | 3 |
| 給水係 | | | | | | | (1) | | | | | | 0 | | | 0 |
| 施設係 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 | 2 | | 2 |
| 浄水場 | | (1) | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | 3 | 3 | | 3 |
| 合 計 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 12 | 9 | 3 | 12 |

◆ 年令別職員構成

| 区分 年令別 | 事務職 | | 技術職 | | 合計 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 職員数(人) | 構成比(%) | 職員数(人) | 構成比(%) | 職員数(人) | 構成比(%) |
| 25歳未満 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 25歳以上 ～30歳未満 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 30歳以上 ～35歳未満 | 1 | 11.1 | 0 | 0.0 | 1 | 6.3 |
| 35歳以上 ～40歳未満 | 1 | 11.1 | 1 | 14.3 | 2 | 12.5 |
| 40歳以上 ～45歳未満 | 3 | 33.3 | 1 | 14.3 | 4 | 25.0 |
| 45歳以上 ～50歳未満 | 1 | 11.1 | 1 | 14.3 | 2 | 12.5 |
| 50歳以上 ～55歳未満 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 6.3 |
| 55歳以上 | 3 | 33.3 | 3 | 42.9 | 6 | 37.5 |
| 合計 | 9 | 100.0 | 7 | 100.0 | 16 | 100.0 |
| 平均年令 | 48.4歳 | | 53.2歳 | | 50.5歳 | |

◆ 勤続年数別職員構成

| 区分 勤続年数別 | 事務職 | | 技術職 | | 合計 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 職員数(人) | 構成比(%) | 職員数(人) | 構成比(%) | 職員数(人) | 構成比(%) |
| 10年未満 | 4 | 44.4 | 2 | 28.6 | 6 | 37.5 |
| 10年以上 ～15年未満 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 6.3 |
| 15年以上 ～20年未満 | 3 | 33.3 | 0 | 0.0 | 3 | 18.8 |
| 20年以上 ～25年未満 | 1 | 11.1 | 0 | 0.0 | 1 | 6.3 |
| 25年以上 ～30年未満 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 30年以上 | 1 | 11.1 | 4 | 57.1 | 5 | 31.3 |
| 合計 | 9 | 100.0 | 7 | 100.0 | 16 | 100.0 |
| 平均勤続年数 | 13.2年 | | 23.2年 | | 17.6年 | |

* 勤続年数は都市整備部以外の年数も含む。

* 端数処理により、合計が合致しない場合がある。

(3) 事務分担

公営企業課

総務経営係

- (1) 部及び課の庶務に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び研修等に関すること。
- (3) 例規の制定及び改廃に関すること。
- (4) 文書の収発及び保管に関すること。
- (5) 公印の保管に関すること。
- (6) 事業の基本計画に関すること。
- (7) 広報広聴に関すること。
- (8) 情報化に関すること。
- (9) 給水指定工事業者に関すること。
- (10) 水道事業関係工事執行指名業者選定委員会に関すること。
- (11) 入札及び契約の締結に関すること。
- (12) 関係機関との協議及び調整に関すること。
- (13) 下水道排水設備指定工事業者の指定に関すること。
- (14) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (15) 予算及び決算の調製並びに執行管理に関すること。
- (16) 経営健全化に関すること。
- (17) 出納及び会計事務に関すること。
- (18) 出納（収納）取扱金融機関に関すること。
- (19) 国庫補助事業の事務に関すること。
- (20) 起債及び一時借入金に関すること。
- (21) 例月出納検査に関すること。
- (22) 財産の管理に関すること。
- (23) その他経営に関すること。

お客様係

- (1) 水道料金及び下水道使用料の徴収に関すること。
- (2) 使用水量の計量及び認定並びに更正に関すること。
- (3) 水道の開栓、閉栓及び名義変更等に関すること。
- (4) 事業収入、負担金その他諸収入の徴収に関すること。
- (5) 水道料金及び下水道使用料等の減免、還付及び給水停止に関すること。
- (6) 督促、催告及び停水に関すること。
- (7) その他お客様の料金等に関すること。
- (8) 認定汚水の調定に関すること。

上下水道施設課

給水係

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 給水装置の受付審査、施工及び検査に関すること。
- (3) 受託工事納付金、新規給水加入金、負担金等の調定告知に関すること。
- (4) メーターの取替、修理及び管理に関すること。
- (5) 指定工事業者に係る指導、育成に関すること。
- (6) 貯水槽水道に関すること。
- (7) 専用水道に関すること。
- (8) 漏水防止に関すること。
- (9) 給水装置及び配水施設の維持管理及び修理並びに水質保全に関すること。
- (10) 道路占用願及び道路使用許可申請に関すること。
- (11) 給水の相談及びサービスに関すること。

施設係

- (1) 上水道の拡張、改良工事の計画、調査、設計、施工に関すること。
- (2) 配水計画に関すること。
- (3) 給配水管の布設、改良、移設工事の設計施工に関すること。
- (4) 上水道に係る災害復旧工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (5) 給配水管等の材料に関すること。
- (6) 公共、公益工事等の連絡調整に関すること。
- (7) 配水管台帳等の整備に関すること。
- (8) 道路占用願及び道路使用許可申請に関すること。
- (9) 道路復旧に関すること。

浄水場

- (1) 浄水場の庶務に関すること。
- (2) 原水の確保及び取水、浄水、送水等の調査研究に関すること。
- (3) 取水、浄水施設、配水池等の維持管理及び整備計画に関すること。
- (4) 浄水場の運営及び管理に関すること。
- (5) 原水、浄水等の水質検査に関すること。
- (6) 水質検査施設の維持管理に関すること。
- (7) その他水質に関すること。

6 災 害

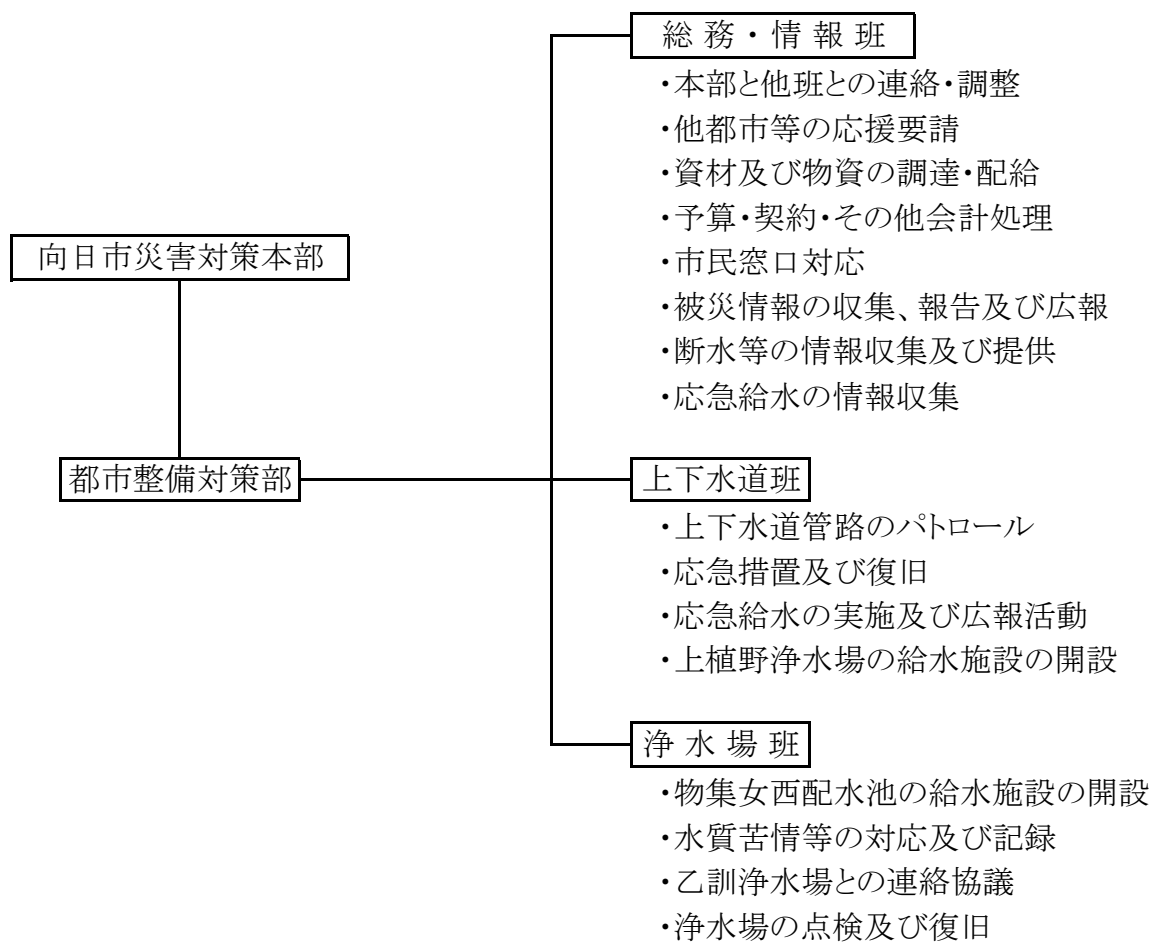
水道事故や地震発生時の緊急対策については、市民の方の飲料水の確保と応急給水活動・水道施設の被害による二次災害の防止等に迅速かつ的確に対応できるように、京都府営水道の受水市町村や日本水道協会京都府支部との応援協定を結んでおります。

また、緊急時に的確に対処できるよう、上下水道事業の業務継続計画を策定しました。災害時に備えるため、物集女配水池や上植野浄水場に大きな地震にも耐えられる構造とし、配水池に貯留された水の流出を防ぐため、自動的に閉じる緊急遮断弁等を設けています。

また、飲料水確保の面から物集女配水池と上植野浄水場に、直接市民の方に水道水を緊急的に供給することができる蛇口や、給水車への給水が可能となる応急給水施設を設置いたしました。

上下水道事業の業務継続計画(概要)

◆都市整備対策部の組織



◆分水協定及び応援協定の締結

- ・災害時における京都市との分水協定書の締結(市内6か所で接続)
上植野給水区域4か所、物集女給水区域2か所
(平成14年3月26日締結)
- ・日本水道協会京都府支部水道災害相互応援に関する覚書の締結(1府22市町)
(平成30年4月1日変更)
- ・水道施設の災害に伴う応援協定書の締結(向日市指定上下水道協同組合)
(平成20年5月26日締結)

◆緊急遮断弁の設置

- ・物集女第1配水池(口径800mm)

◆緊急物資等の保有

- | | |
|---------------------------|---------|
| ・加圧式給水車(2m ³) | 1台 |
| ・給水タンク(1m ³) | 1基 |
| ・応急給水対応設備(500L) | 6セット |
| ・災害対策用給水ポリ袋(3L) | 10,900袋 |
| ・災害対策用給水ポリ袋(4L) | 750袋 |
| ・災害対策用給水ポリ袋(6L) | 2,350袋 |
| ・災害対策用給水ポリ袋(10L) | 2,300袋 |
| ・応急復旧資材 | 1式 |
| ・仮設給水栓(6栓) | 2基 |



加圧式給水車

◆応急給水施設の設置

- ・物集女配水池(給水車用給水栓-1基、応急給水栓-5栓)
- ・上植野浄水場内(給水車用給水栓-2基、応急給水栓-7栓)

応急給水施設



物集女配水池



上植野浄水場

7 京都府営水道の導入

◆経過

本市では、給水を開始して以来、水源を地下水に求めてきましたが、急激な人口の増加などにより給水量が増大し、地下水の過剰な汲み上げが続いたため、水位の低下や地盤の沈下が顕著となり、この地下水を補完する第2の水源確保が緊急の課題となりました。

このため、同様の事情を抱える長岡京市や大山崎町をはじめ、府下南部都市と連携し、広域的な水道整備を京都府に要請した結果、日吉ダムを水源とした府営水道（乙訓系）が建設されることとなり、平成4年度から工事に着手され、平成12年10月から府営乙訓浄水場の供用が開始されました。

この府営水の受水により、水道水源が複数化され、将来にわたって安定した給水が可能となり、地盤沈下が抑制されるとともに、地下水の恒久的な利用が図れることとなりました。

また、平成23年4月から久御山広域ポンプ場で乙訓系、宇治系、木津系の3浄水場が接続され、広域的な水運用が可能となり、危機管理が強化されました。

◆受水後の給水形態

乙訓浄水場で水道水として処理された府営水は、送水管で乙訓2市1町へ送られてきますが、本市では自己水と府営水を配水池等で混合し、各家庭や事業所へ給水しています。（給水形態の概要参照）

◆協定水量と受水量の実績

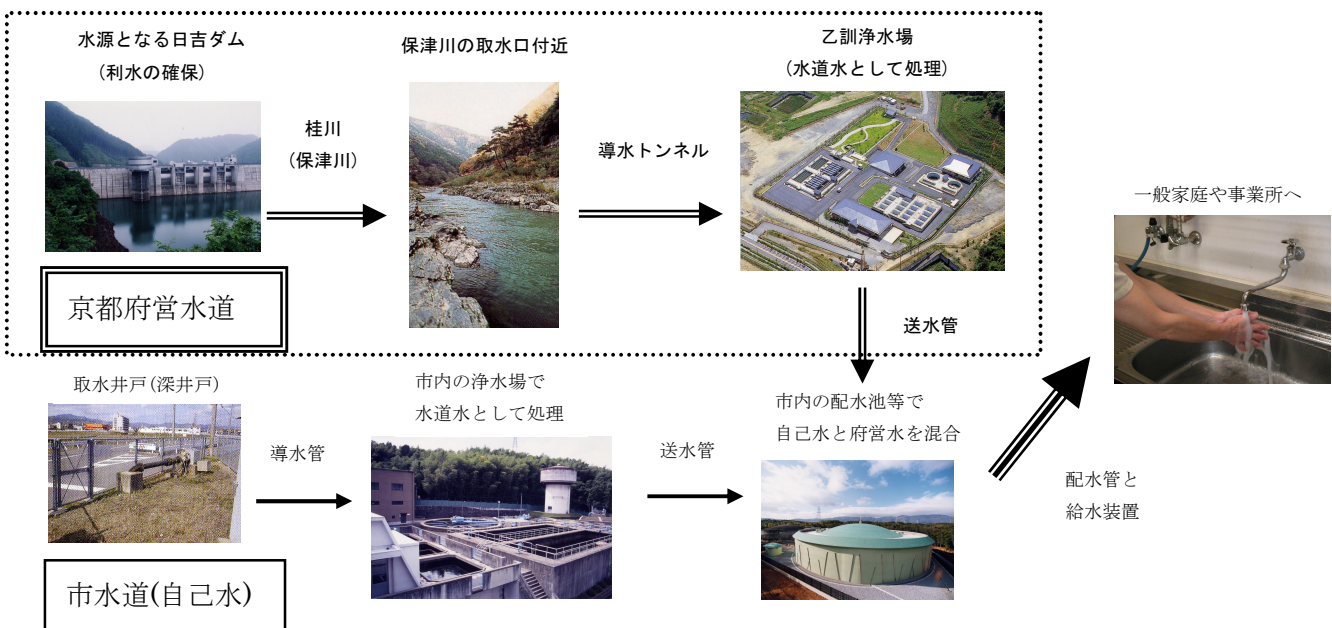
乙訓浄水場の施設能力は、1日当たり最大で46,000立方メートル、そのうち12,700立方メートルが本市への配分水量となっております。当該水量が京都府との協定基本水量となります。

◆受水料金単価の推移（乙訓系）

| 区分 年度 | H12 | H16 | H20 | H23 | H26 | H27 | R2 | R4 |
|-----------------------|------------------|----------|----------|----------|-----|---------|---------|---------|
| | ～ H15 | ～ H19 | ～ H22 | ～ H25 | | ～ R1 | ～ R3 | ～ R6 |
| 建設負担 料金単価 (円/㎥) | 100 (89) ※ | 92 | 87 | 77 | 73 | 66 | 57 | 55 |
| 使用料金単価 (円/㎥) | 42 | 36 | 36 | 36 | 34 | 20 | 28 | 28 |

※ H12～H15年度は暫定的に89円/㎥、H26年度以降は税抜き表示

[給水形態の概要]



令和6年度 向日市水道事業年報

令和8年3月

発行 向日市

編集 都市整備部公営企業課

電話 075-874-3870



上植野配水塔と給水車